

関西ハーモニカ連盟会報

ハーモニー

Harmony



ドレミちゃん

© 関西ハーモニカ連盟 2011

210
2017年1月

関西ハーモニカ連盟 組織 2016年11月15日現在

会 長	仲村 眞	〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 1-7-15 フォルム帝塚山 309号 TEL 06-6674-0152 FAX も同じ	
理 事 長	吹上晴彦	〒602-8488 京都市上京区真倉町 757-107 TEL 075-411-1531 FAX も同じ	
副理事長兼事業部長	梁木 進	〒599-8116 堺市東区野尻町 192-20 TEL 072-284-8808 FAX 072-286-4890	
事業部長補佐	金丸寿夫、鐘ヶ江義行、木ノ山洋子、保理江元子		
副理事長兼事務局長	村上博昭	〒630-0141 生駒市ひかりが丘 1-13-20 TEL 0743-79-9559 FAX も同じ	
事務局長補佐	角野まゆみ		
編 集 局 長	もり・けん	〒594-0041 和泉市いぶき野 4-1-4-209 TEL 0725-57-7235 FAX も同じ (会報の原稿は会報編集室まで)	
連盟会報編集室	(会報の原稿の送付先、会報誌に関する問い合わせ等) harmonica@cardandmedia.co.jp 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務局 TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393		
編集局長補佐	岩本洋之、竹内寿子		
HP 広報担当	渡辺晃志		
研 修 部 長	小林由美子	〒662-0046 西宮市千歳町 7-42 TEL 0798-22-1844 FAX も同じ	
研修部長補佐	住田陽子、永野富康、西本豪介、丸山茂生		
組 織 部 長	梅田恒弘	〒611-0021 宇治市宇治塔川 3-11 TEL 0774-21-2373 FAX 0774-39-5506	
組織部長補佐	松岡郁子 (会計兼務)		
会 計 部 長	柴田正之	〒654-0013 神戸市須磨区大手町 5-3-1 TEL 078-734-5157 FAX も同じ	
会計部長補佐	松岡郁子		20人
理 事	(五十音順) 青木鈴子、新井尚子、稲垣裕子、井上純一、内田常雄、小川未佐子、 尾崎雄三、小野浩子、喜多創平、木原淳、坂田利雄、佐藤長、園真佳、高阪他美子、 高山美千代、田口幸輝、竹本雅英、谷口昌子、戸田秀徳、富久鉄男、仲井治夫、 中谷晃、中西富佐男、新山ミツ子、羽原伸示、林和子、林一義、福島隆志、藤本勇、 藤原延之、松本忠義、松本千佳子、道下雅之、光野利一郎、山口昌代、和谷篤樹、 渡邊義明		37人
会 計 監 査	後藤貞男		
常 任 顧 問	(五十音順) 岡谷秀喜、笹山恵司、寺村安雄、村上浩一、吉村則次		5人
顧 問	(五十音順) 岡村貞彦、西田幸司、渡辺 昇		3人
特 別 顧 問	(五十音順) 甲賀一宏、斎藤寿孝、十河陽一、徳永延生、森本恵夫、和谷泰扶		6人

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://harmonika-renmei.studio-web.net/>

入会のご案内 組織部長

入会金：1000円 (団体は1団体1律1000円)

年会費 (1月から12月)：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員 (30歳未満の方) 1000円

団体会員 (5名以上の団体で1名につき) 1000円、賛助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

●入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きな方なら、
吹く方、吹かない方、上手な
方、下手な方、上手になりたい
方、ニュースだけほしい方
等、どなたでも入会できます。



関西ハーモニカ連盟会報 ハーモニー 第210号 (2017年1月号)

発行部数 550 毎年 4、7、10、1 月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

表紙の写真は松井正清さんのお孫さん 1 歳 10 ヶ月。

裏表紙は吉村則次さん写真提供、ドイツのハーモニカ人形 2 体 (木製、高さ 6cm) です。

関西ハーモニカ連盟 2017 年度『定時総会』	理事長	吹上晴彦	2
招集のご案内	事務局長	村上博昭	
組織部・会計部からのお願い	組織部長	梅田恒弘	3
	会計部長	柴田正之	
関西ハーモニカ連盟への入会ご案内	組織部		4
《個人会員》《準会員》《賛助会員》入会申込書			5
《団体・団体会員》申込書 (新規・継続)			6
第 11 回西日本コンテスト・決算	会計部長	柴田正之	7
2016 年合宿交流会決算	会計部長	柴田正之	8
第 27 回関西ハーモニカ祭り・決算	会計部長	柴田正之	9
関西ハーモニカ連盟第 4 回合宿交流会報告	事業部長	梁木進	10
第 27 回関西ハーモニカ祭りを終えて	事業部長補佐	鐘ヶ江義行	12
優勝者のことば			
第 11 回西日本ハーモニカコンテスト	事業部		14
常任理事会実施報告	事務局	角野まゆみ	17
“行って！見て！聞いて！”(私の備忘録)vol.3		岩本洋之	17
2016 年度第 2 回研修会報告			
「リズムと表現法 Part II」心・技・体でいこう！	研修部	永野富康	18
2016 年度第 3 回研修会報告			
～良い演奏の色々なテクニク～	研修部	住田陽子	20
2017 年度研修会のご案内	研修部長	小林由美子	22
関西ハーモニカ連盟研修会申込書	研修部		23
ハーモニカカレンダー	編集局		24
ハモニ館第 9 回夏季宿泊研修会		福田徹士	26
高阪ハーモニカ教室合同発表会	須磨パールエコーズ代表		
10 周年記念コンサートを開催		羽原伸示	28
新井ファミリー・手作りコンサート	ハーモニカンズ・アバンドーネ		
を開催しました		林和子	29
垂水ハーモニカ友の会第 12 回発表会	垂水ハーモニカ友の会代表		
を開催しました		渡邊義明	30
教室だより NHK 神戸マリンハーモニー	代表	吉村望	32
教室だより アンサンブル『アカンサス』	代表	竹本雅英	33
ハーモニカが上達するための大切なこと (65)		池田輝樹	34
ハーモニカをポケットに、糸魚川～能代 550kmの旅		木原 淳	35
「尼崎ハーモニカエコーズ 32 年のあゆみ」	尼崎ハーモニカエコーズ代表		
—第 30 回たのしいハーモニカコンサートを記念して—		雑賀健	37
素晴らしい方が大阪にもいたことを発見できた			
関西ハーモニカ連盟合宿交流会		吉村則次	38
温故知新「セ・シ・ボン」		寺村安雄	40
れんめいひろば お役立ち情報を歓迎します	編集局		42
隔離のアートをたどって			43
2016 年 9 月 7 日付新聞記事より			
編集後記			44

関西ハーモニカ連盟会員各位

関西ハーモニカ連盟 2017 年度『定時総会』招集のご案内

関西ハーモニカ連盟理事長 吹上晴彦

担当 事務局長 村上博昭

当連盟 2017 年度定時総会を下記の通り開催致しますので、万障繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

1. 日時：2017 年 2 月 11 日（土曜日・建国記念の日）午後 3 時より
2. 場所：大阪市西区江戸堀 1-15-30 北京料理 徐園 電話 06-6448-5263
3. 議題：① 2016 年度事業報告について

西日本ハーモニカコンテスト、合宿交流会、関西ハーモニカ祭り他

② 2016 年度収支決算報告について

③ 2017 年度事業計画について

第 28 回関西ハーモニカ祭り・第 32 回奈良国民文化祭有料コンサート（仮称）他

④ 2017 年度予算案について

◎議決権を有する会員で、総会に欠席される方は、事前に事務局に異議の申し出がない限り、一切の議決権を理事長に委任したものとみなします。

◎団体会員は、原則として議決権のある「団体会員代表者」の出席をお願いします。

総会終了後、引き続き同所で交流懇親会（午後 5 時頃の予定）を実施します。

懇親会 会費 5,000 円

◎所定の年会費及び懇親会費用振込み用紙にてお支払願います。

◎出欠は、同封のハガキにて、12 月末日までにご返送ください。



- ・地下鉄四つ橋線肥後橋駅
2 番出口より徒歩 1 分
- ・京阪電車中之島線渡辺橋
7 番出口より徒歩 5 分

＊お願い・年会費の支払は会報に同封の振込み用紙にて 1 月 31 日までに送金願います。

（現金でのお支払は受け付けていません）

・「振込み忘れ」で退会扱い等トラブルにならないようご協力願います。

・やむを得ない事情により当会を退会される方は、同封のハガキにてその旨連絡下さい。

＊平成 29 年度入会として申し込まれて、すでに平成 29 年度会費を納入済みの方及び特別顧問の方は同封の振込用紙は無用としてお扱い下さい。

組織部・会計部からのお願い

組織部長 梅田恒弘

会計部長 柴田正之

新年度を迎えるにあたり、次の4点についてご協力をお願いいたします。

「個人会員・準会員・賛助会員 登録（継続）」

- ・継続者は同封の葉書の継続に○をつけてください。
- ・新年度会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）を1月末日までに会計部へお振り込みください。

今年から会費納入期限が1月末になりましたのでご協力ください。

万一2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により不本意ながら退会扱いになりますのでご注意ください。

「個人会員登録・準会員・賛助会員 登録（新規入会）」

- ・P5に掲載の「《個人会員》《準会員》《賛助会員》入会申込書」をA4判に拡大コピーし必要事項をご記入の上、必ず組織部へご送付ください。
- ・入会金（1,000円）と年会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）は会計部へお振り込みください。

「団体・団体会員 登録（継続）」

- ・「団体会員」は前年度からの継続者を含めて年度毎に登録しなければなりません。
- P6に掲載の「《団体・団体会員》申込者（新規・継続）」をA4判に拡大コピーし必

要事項をご記入の上、1月31日までに必ず組織部へご送付ください。

年会費（団体会員1人につき1,000円）は1月末日までに会計部へお振り込みください。

今年から会費納入期限が1月末になりましたのでご協力ください。

万一2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により不本意ながら退会扱いになりますのでご注意ください

「団体・団体会員 登録（新規入会）」

- ・P6に掲載の「《団体・団体会員》申込書（新規・継続）」をA4判に拡大コピーし必要事項をご記入の上、必ず組織部へご送付ください。
- ・入会金（団体新規登録時のみ1,000円）と年会費（団体会員1人につき1,000円）は会計部へお振り込みください。

（組織部）「個人会員」「準会員」「賛助会員」

「団体・団体会員」申込書の送り先

〒611-0021 宇治市宇治塔川3-11

梅田恒弘

（会計部）「入会金」「年会費」の振込先

振替口座 番号 00950-6-115527

名義 関西ハーモニカ連盟

関西ハーモニカ連盟への入会 ご案内

組 織 部

《ハーモニカに関心のある方ならだれでも・いつでも入会できます。》

関西ハーモニカ連盟の主な活動

- ・ハーモニカコンサート（ハモ祭り）
- ・ハーモニカコンテストの開催
- ・ハーモニカ情報を満載した会報「ハーモニ」を年4回（1、4、7、10月）発行
- ・懇親会・研修会・研究会・合宿・交流会等の開催

《入会金と年会費》

- 入 会 金 （個人・準会員）1,000 円
（団体）1 団体一律に初回のみ 1,000 円
- 年 会 費 （個人会員）5,000 円
（準会員）1,000 円 若手育成のため 30 歳未満の方に正会員並みの待遇をします。
（団体会員）1 名当たり 1,000 円
（賛助会員）1 団体当たり 10,000 円

《入 会 方 法》

- ・ P5、P6 に掲載の入会申込書を A 4 判に拡大コピーして所定事項を記入し、入会金および会費の振込証（コピー）を添付してお申込みください。
- ・ 団体は 5 人以上でご加入ください。（個人会員・準会員の重複加入も認める。）
- ・ 会員名簿には、団体については「団体名」「代表者名」「住所」「電話番号」「会員の氏名」「人数」を公開します。

《入会申込書送付先》（FAX,E-mail でも可）

〒 611-0021 京都府宇治市宇治塔川 3-11 梅 田 恒 弘
Tel 0774-21-2373 Fax 0774-39-5506
E-mail: umeda-tsunehiro@kdt.biglobe.ne.jp

《入会金・年会費送金先》

下記の口座へ郵便振込みで送金をお願いします。

振替口座 番号 00950-6-115527、 名義 関西ハーモニカ連盟

会計部長	柴 田 正 之	Tel/Fax 078-734-5157
組織部長	梅 田 恒 弘	Tel 0774-21-2373
		Fax 0774-39-5506

関西ハーモニカ連盟

会長 仲村 眞 殿

理事長 吹上 晴彦 殿

《個人会員》《準会員》《賛助会員》 入 会 申 込 書

(上記、申し込みたい会員を○で囲む)

年 月 日

(ふりがな) 氏 名			(性別) 男 女
			準会員の方は年齢 歳
住 所 (ふりがな)	〒 —		
	府・県 郡・市 町・村		
電 話・FAX	- -	FAX	- -
携 帯	- -		
e-mail			
ホームページ			
《非公開事項》	番地・電話番号の公開を ①認める ②認めない		
ご入会の動機			
ご 紹 介 者			
生 年 月 日	T. S. H 年 月 日生 (ハーモニカ経験年数) 年		
加入教室・演奏団体			
主にご使用のハーモニカ	複 音 クラシック 10ホールズ 合奏ハーモニカ (		
加入他団体名(○をつけて下さい)	全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、FIH、NHC、 ハーモニカ振興会、その他()		
(入会金・年会費 振込証のコピー) 貼 付		(連盟への期待・要望など)	

組織部

関西八一モ二力連盟 会長 仲村 眞 殿

理事長 吹上晴彦 殿

《団体・団体会員》 申込書 (新規・継続)

年 月 日

(新規か継続かを○で囲む)

団体名	(ふりがな)		
代表者名	(ふりがな)	性別 男 女	代表者は 個人会員 団体会員 準会員
住所	〒 ー ー 府県		
電話・FAX	ー ー		FAX
携帯・Email	ー ー		E-mail

振込金額	入会金(初回のみ) 1,000円 / 年会費		円 / 合 計		円
団体人数	人				
(ふりがな) 会員氏名					

(入会金・年会費 振込票のコピー)

貼 付

(欄が
足りなければ
別紙へ)

第 11 回 西日本ハーモニカコンテスト・決算

2016 年 8 月 11 日（土） サンスクエア堺

会計部長 柴田正之

2016 年 10 月 17 日

収入の部		今回			前回		差異
		11 回			10 回		今回－前回
		2016 年 8 月 11 日			2014 年 8 月 23 日		
		(件)	決算額	予算額	(件)	決算額	差額
内 訳							
	ジュニア・ソロ部門	0	0	0	0	0	0
	ジュニア・アンサンブル部門	0	0	0	0	0	0
	クラシック・ソロ（クラシック）	7	47,000	40,000	4	23,000	24,000
	クラシック・ソロ（ジャズ・ポピュラー）	13	95,000	60,000	8	58,000	37,000
	複音トレモロソロ	23	127,000	180,000	21	114,000	13,000
	デュエット	2	24,000	30,000	2	20,000	4,000
	小アンサンブル	3	45,000	60,000	4	60,000	-15,000
	大アンサンブル	3	65,000	60,000	3	60,000	5,000
	フリーソロ	0	0	0	1	5,000	-5,000
応募 計 ①		51	403,000	430,000	43	340,000	63,000
入 場 券 売 上 ②			486,000	500,000		360,000	126,000
CD・DVD 売 上 ③			0	0		12,000	-12,000
収 入 合 計 ①+②+③			889,000	930,000		712,000	177,000
特別会計から補填 ④			146,533	15,000		362,058	-215,525
合 計 ①+②+③+④			1,035,533	945,000		1,074,058	-38,525

* 1

* 2

支出の部

今回－前回

内 訳	決算額	予算額	決算額	差額
会場費	342,810	260,000	259,008	83,802
賞品代 盾等	150,587	120,000	172,806	-22,219
審査員謝礼 交通費含む	330,000	345,000	345,000	-15,000
司会者謝礼	30,000	30,000	30,000	0
ゲスト謝礼（交通費）	11,000	60,000	60,000	-49,000
関係者食事代	11,299	0	38,072	-26,773
世話人交通費	32,380	30,000	42,680	-10,300
プログラム等印刷費	27,060	30,000	31,984	-4,924
諸費（コピー、郵送、小物等）	75,847	70,000	77,008	-1,161
打ち上げ補填	24,550	0	17,500	7,050
合 計	1,035,533	945,000	1,074,058	-38,525

* 3

* 4

備考

* 1 * 2 出演料および入場券売り上げが大幅に増加。

* 3 入場料有料扱いおよび夜間割り増しのため会場費増。

* 4 ゲスト出演者 前は遠方からの出演者あり。

結果として収支は前回より大幅に改善した。

2016年 合宿交流会決算

2016年9月3日4日 新大阪ココプラザ

会計部長 柴田正之

2016年10月17日

収入	今回 2016年9月3日4日				前回 2014年9月27日28日			
	参加費	人数	金額		参加費	人数	金額	
宿泊者参加費	14,000	44	616,000	50名泊	12,000	48	576,000	52名泊
同朝帰り	12,000	1	12,000	注1				注4
1日目日帰り参加費	3,500	64	224,000		3,000	36	108,000	
2日目日帰り参加費	3,500	34	119,000		3,000	21	63,000	
1日目昼食代		0	0	注2	650	15	9,750	
2日目昼食代	650	12	7,800	注3	650	8	5,200	
1日目夕食代	2,000	16	32,000		2,000	11	22,000	
追加参加・食事代	1,000	2	2,000				14,250	
返金		3	-5,950				-10,000	
合計			1,006,850				788,200	

支出							
ユース支払い			422,500			421,770	
会館使用料 講義			67,700			43,300	
会館使用料 コンサート			109,450			63,700	
講師謝礼			215,000			172,000	
司会謝礼			20,000			20,000	
諸費			56,285			49,283	
合計			890,935			770,053	

差し引き			115,915			18,147	
------	--	--	---------	--	--	--------	--

注1 宿泊招待5名 朝帰り1名

注2 1日目 昼食なし

注3 当日飛び入り2名ふくむ

注4 宿泊招待4名

備考

参加費を若干あげたことと、日帰り参加者の増加により、参加費収入が大幅増。

ユースホテル使用料はほぼ前回と同じ。

会館使用料は、2015年4月からの値上げ等のために増加。

結果としては大幅な黒字となった。

第27回関西ハーモニカ祭り・決算

2016年10月22日・23日 神戸・オルビスホール

会計部長 柴田正之

2016年11月1日

2016年11月1日

		今回		前回		差異
		27回		26回		今回ー前回
		2016 / 10 / 22 ～ 23		2015 / 10 / 03 ～ 04		
収入の部						
内 訳		決算額		決算額		差異
出演者分担金	(件)		(件)			
Ⅰソロ	45	270,000	54	324,000	-54,000	
Ⅱデュオ	2	16,000	4	32,000	-16,000	
Ⅲトリオ	0	0	1	9,000	-9,000	
ⅣアンサンブルA (4 ～ 6 名)	18	180,000	24	240,000	-60,000	
ⅤアンサンブルB (7 ～ 10 名)	19	228,000	22	264,000	-36,000	
ⅥアンサンブルC (11 ～ 15 名)	18	252,000	14	196,000	56,000	
ⅦアンサンブルD (16 名以上)	12	180,000	16	240,000	-60,000	
ピアノ	4	12,000	6	18,000	-6,000	
応募 計 ①	114	1,138,000	135	1,323,000	-185,000	* 1
広告収入 ②		99,530		100,000	-470	
収入合計 ①+②		1,237,530		1,423,000	-185,470	

支出の部			
内 訳		決算額	差異
会場費合計		538,364	924,400 -386,036 * 2
ホール使用料		215,000	551,340 -336,340
音響・照明人件費・設備使用料		323,364	373,060 -49,696
プログラム印刷費		114,141	135,000 -20,859
看板制作費		0	16,280 -16,280
司会者謝礼		60,000	60,000 0
関係者食事代		6,946	49,000 -42,054
関係者交通費		70,100	71,810 -1,710
諸費(コピー、郵送費等)		33,089	22,946 10,143
不慮の事故保険料		0	9,000 -9,000
ゲスト演奏者謝礼(交通費)		21,000	0 21,000
合 計		843,640	1,288,436 -444,796
差 引 金 額		393,890	134,564 259,326

神戸オルビス 京都テルサ

* 1 出演者数減により出演料減。 要因は不明。

出演者数の推移 23回135 24回138 25回141 26回135 27回114人
神戸 豊中 奈良 京都 神戸

* 2 前回の京都テルサは客席856席、今回のオルビスは424席。ホール使用料減。

関西ハーモニカ連盟 第4回合宿交流会 報告

事業部長 梁木 進



ココプラザ広場

東日本全域に爪痕を残して台風9号・10号が去った。その直後、台風12号が九州の南から北進しつつあった2016(平成28)年9月3日の朝、遠方より新大阪ココプラザに多くのハーモニカ愛好家が集まりました。気象情報を気にしながらの2日間でしたが、全ての講習と交流とコンサートのプログラムは熱気に包まれる中、終える事が出来ました。幸いに、雨風の影響はほとんど無い状況で帰路の途に就く事が出来ました。

一日目は120分のレクチャーが8講座、夜は食堂での交流夕食会と「吹きまくり大会」、二日目は120分のレクチャーが4講座と昼食後のコンサートと充実した内容でした。お忙しいところを講師として来阪いただいた斎藤寿孝先生、楠光恵先生、伊藤加奈先生、宮田薫先生には「本当にお疲れさまでした。またコンサートでは素晴らしい演奏をありがとうございました」参加者全員を代表して心からお礼を申し上げます。

特別ゲストとして何度も舞台に立っていただいたトンボ楽器社長真野照久様のアコーディオン演奏にはいつもの交流会とは異なった楽しみを味わう事ができました。また今回の交流会において新たな講座としての「複音ハーモニカの

メンテナンス」をご担当頂いた鈴木楽器竹森雅裕様には本当に懇切丁寧なご指導をありがとうございました。

当連盟から、講師として又コンサートのゲストとして若さ溢れる演奏をいただいた新井尚子さん、そして同じく講師の梅田恒弘さん、村上博昭さん、高山美千代さんにも、準備

段階からコンサート終了までご尽力いただきました。

2年に一回のこの合宿交流会のあり方については連盟内部に於いて幾度か議論されてきました。反省・改善すべき点もあることは承知した上で今回も募集致しました結果、124人の参加を得ました。斎藤寿孝先生のおっしゃっておられた「継続の重要性」を実感致しましたが、数少ない交流の場を連盟会員の皆様方のための場とするために、会員の皆さんからのアイデアやご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

交流会翌日に斎藤寿孝先生より温かい激励のお言葉を頂戴致しましたのでご紹介します。

「ココプラザでは大変お世話になりました。非常によく組織、計画され、スムーズな進行で、大きな盛り上がりが見られました。ご苦労様でした。ゆくゆくは、これを、国際大会にまで持っていけるように考えてください。斎藤寿孝」

(註) 交流会コンサート当日配布されたプログラムに「第5回」との記述が有りましたが「第4回」に修正させていただきます。



新井尚子さんの講座



夕食風景



コンサート アンサンブル12



コンサート 伊藤加奈さん



コンサート 村上浩一さん



梅田恒弘さんの講座



コンサート 村上博昭さん



コンサート 斎藤寿孝さん

第27回 関西ハーモニカ祭りを終えて

事業部長補佐 鐘ヶ江義行



「海の声」(大阪音楽大学付属音楽院アンサンブル)

第27回関西ハーモニカ祭りは、2016(平成28)年10月22・23日の両日にわたり、神戸六甲アイランド「神戸ファッション美術館オルビスホール」で開催いたしました。ちなみに、オルビスとはラテン語で円のことであり、UFO円盤のような建物から、ご想像いただけるものと思います。2日間の出演者はソロ48人、アンサンブルは69組となり、延べ15時間で、181曲が演奏されました。延べ出演者数は770名にのぼります。出演者は、日頃の練習成果を遺憾なく発揮されたことと思います。演奏曲はクラシック、童謡唱歌、演歌、ポップスまでバラエティーに富み、お祭りにふさわしく歌声や踊りで、会場を盛り上げていただきありがとうございました。アンサンブル出演者の方々からは演奏終了後「楽しかった」との言葉を頂きました。

朝の早い時間帯や終盤近くでの演奏された出演者の方々、そして最後まで演奏を聴いて下さった観客の皆様へ厚くお礼申し上げます。第11回西日本ハーモニカコンテスト各部門優勝者に22日・23日、ゲストとして出演頂きました。クロマチック部門の三浦美奈子さん、大村義宣さん、複音ソロ部門の源馬恵子さん、デュエット部門

ぼけっといーののお二人、そして小アンサンブル部門モア・こびっと4名の皆様には、心からお礼を申し上げます。

また、後援・協賛頂いた全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、ハーモニカ振興会、(株)トンボ楽器製作所、鈴木楽器販売(株)大阪支店、三木楽器心斎橋店、(株)全音楽譜出版社の皆様にも感謝申し上げます。

23日の終了予定は18:30でした。出演者、進行運営の方々のご協力により、恙なくほぼ定刻で終了できました。しかしハーモニカ祭りの企画及び運営面において、プログラム等での誤記、演奏順番、舞台裏が騒がしい等で、ご不満の方々がおられたと思います。今後、皆様のご不満やご指摘の改善に取り組み、この伝統的な行事をより良くするよう最善を尽くす所存です。特にリハーサル室については、演奏会間近くに確保いたしましたが、朝早くから終了時間いっぱいまで利用されておられました。会員の方々から「リハーサル室があって助かった」とのお声を頂きました。(演奏会の模様を連盟サイトにアップしています。編集局)

今回、初めて演奏中にバックスクリーンへ映像を投射しました。この映像投射について、アンケートを行いました。集計の結果、ご回答いただいた55名のうち、約9割が、映像は華やかであり、演奏曲に調和して良かった、今後も継続してほしいとの内容でした。歌詞の投影を希望するご意見も数件ありました。

近年、会場の忘れ物が増えています。貴重品は自己管理を、持ち物にはご氏名を明記されますようお願いいたします。

第28回関西ハーモニカ祭りは、2017(平成29)年10月7・8日に、「なら百年会館」で開催します。奈良の国民文化祭に参加の催物となりますので、盛大に開催したいと思います。会員皆様のご参加を期待いたします。



ピアノ伴奏でソロ演奏（松矢孝一さん）



息の合ったアンサンブル



「オクラホマミキサー」に合わせてダンスも
（ヤンタン狭山ハーモニカクラブ）



美しい音色に魅了されました（THE Hom β）



思い出深い演奏でした（同好会いかるが）



「北の国から」（虹・レインボー）



色彩がすばらしい（小河由美さん）



舞台が絵になるカルテット（ほろりほろり）

優勝者のことば

第11回西日本ハーモニカコンテスト

事業部

心のどこかに音楽を

クロマチック・ソロ（クラシック）部門優勝

三浦美奈子

今回は「Czardas Intermezzo」でクロマチック・ソロ（クラシック）部門優勝という結果をいただき、ありがとうございました。

半音の出ない教育用ハーモニカに物足りなさを覚えつつ、教科書に載っている曲を総ざらいしたのは小学校低学年の頃。以来、長らく離れていたハーモニカを始めたのは、母が習っていた影響でした。複数の複音ハーモニカを組み合わせ、半音やささまざまな和音を出せることを知って、たいそう驚きました。トレモロが美しく、ベース奏法や分散和音奏法を使えば一人でも伴奏を入れて演奏できるのが魅力的でした。

数年経った頃、電子オルガンやコーラスの経験からクラシック系の音楽にも興味があったので、クロマチックハーモニカを始めました。しばらく双方を平行して練習していたのですが、やればやるほどクロマチックハーモニカと複音ハーモニカは私にとっては全く違う楽器であると実感し、練習時間の制約もあって、両立は困難との判断から、複音ハーモニカとコードを担当していたアンサンブルを休止することにしました。当初からやっていた複音ハーモニカから離れるのは寂しく残念でしたが、いつか再開できたらいいなと思っています。

現在、クロマチックを和谷泰扶先生に指導をいただいております。音色や強弱・リズム・アーティキュレーション等、和谷先生の要求されるレベルを満たすのは大変ですが、大きな充実感も感じています。ピアノ伴奏をして下さる和谷麻里子先生には、伴奏と合わせて生の音で一つ

の音楽を作り上げる難しさと楽しさを教えていただいております。

まだまだ至らないところが多々ありますが、仕事もあり、練習時間の確保が課題です。今回の受賞に満足することなく、これからもできる範囲で向上を目指していきたいと思います。最後になりましたが、音楽を通してご縁をいただいた多くの方々に感謝いたします。

にはこのヴァイオリン奏法しかできないのだから、あとは自信をもってこれでいこう、と心を決めて本番に臨みました。

その結果が、このような素晴らしい賞をいただくことになったのでした。もし吹上先生のお言葉がなかったらこの賞はなかった、と本当に先生への感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ満足のいく「青葉の笛」は吹けません。これから先もまだまだ、より良い演奏になるように頑張っていきたいと思います。

最後に、この場をお借りしまして、私の複音ハーモニカ演奏の基礎をお作りくださいました村田潤先生、そして、いつも応援してくれた家族の者に感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

金賞第一位（複音ソロ部門）をいただいて

複音・ソロ部門優勝

源馬恵子

この度は複音ソロ部門の金賞第一位という栄えある賞をいただきまして、本当にありがとうございました。受賞曲の「青葉の笛」幻想曲は私の大好きな曲ですので、この曲で受賞できたことは、私にとって二倍の喜びです。

今でこそ言えることですが、打ち明けますと、私はヴァイオリン奏法が大の苦手です、大事な部分がこの奏法で演奏される「青葉の笛」は、私にとりまして本当に難しい曲でした。何度練習しても、また、口の形、ハーモニカのくわえ方、舌の置き場所など、いろいろと試してみても、吹上晴彦先生のような美しいヴァイオリンの音色にはほど遠く、毎日、落ち込みの連続でした。そんなある日、とうとう先生に、「ヴァイオリン下手くそですし、他の曲に変えた方がいいでしょうか？」でも「青葉の笛」が好きなんです……と、弱音を吐いてしまいました。すると先生は、「好きな曲を吹くのが一番大事です」とおっしゃってくださり、この一言で私の迷いは消えたように思います。それからコンテストの本番まで練習に練習を重ね、ほんの少しですが、ましにはなってきたように思います。今の自分

主婦コンビのチームワーク

デュエット部門優勝

ぼけていーの

同い年、主婦コンビの「ぼけていーの」です。第11回西日本ハーモニカコンテスト、デュエット部門で念願の一位をいただくことができました。

私たちが演奏した曲「Joyful Joyful」は、ベートーベンの第九のメロディーをモチーフにし、ゴスペルにアレンジした曲です。映画「天使にラブソングを2」の中で、ゴスペル大会に出場した高校生たちがこの曲を力いっぱい歌い上げる姿が感動的でした。

私たちがコンテストに挑戦するにあたって、せっかく長い時間をかけて練習するのですから、やりがいのある曲で、なおかつボランティア演奏等でも皆さんに楽しんで聞いてもらえる曲、ということでこの曲を選び、徳永延生先生にお願いして編曲していただきました。

思ったより難しそうな仕上がりに、「吹けるかしら？」と不安になりましたが、あきらめずに少しずつ練習しました。二人合わせての練習は、子どもが学校に行っている間にお互いの家やカラオケボックスでしています。練習している時間よりも、音楽や子どものこと、見ているドラ

事業部

マのことなど、おしゃべりしている時間の方が長いような気もしますが、まあそのへんは、チームワークをはぐくむのも大切だということ…。

このようにのんびりした私達ですので、今回の受賞、長年私たちをご指導くださった、山森ふさ子先生、徳永延生先生のお支えと励ましがなければとてもかなえられなかったことです。感謝いたしております。

これからも楽しくハーモニカを続け、たくさんの方に私たち「ぼけていーの」の演奏を聴いていただければと思います。

四つ葉のクローバー

小アンサンブル部門優勝

モア・こびっと

モア・こびっとを結成して2回目のコンテストに、このような賞をいただき、正直ホットしたというのが実感です。2年前に苦しい経験をした時に（練習、準備不足で当然の事でしたが）このままモア・こびっとの活動に終止符を打つのか、リベンジかの選択で話し合い、後悔が残る事はしたくないと、角野まゆみさん、山本博子さん、安井節子さんと四人で再スタートしました。

ネーミングのモア・こびっと（もう少し、しっかり頑張る、の意味）が、私たちを後押ししてくれたようにも思います。まず、選曲「ドナウ川の漣」は、基本に戻る・技術の見直し・練習時間の調整・小節のチェック・曲のイメージなど、全員で共有することを確認しあいました。またCDなど多くの曲を聴き、モア・こびっと、とのちがいやアンサンブルのバランスに注意をはらうと共にマイクの選定にも気を使いました。

私事になりますが、2002年ハーモニカアジア大会厚木開催時、主婦6人が夜行バスで行き、一週間ハーモニカをひたすら聴く経験をしました。（主婦業のため途中で神戸―厚木折り返しなど、今では考えられない事です）その時の熱い気持ち、ソロ、アンサンブルなどコンテストへのチャレンジ精神となりました。幾度か入賞はするもののなかなか優勝とまではいかず、

今回やっといただく事ができました。4人で四つ葉のクローバーを見つけたような思いです。しかしアンサンブルにはまだまだ高い山があるとの講評があり、山の高さや壁の厚さにハーモニカの難しさを痛感しております。

今日まで、導いて下さった諸先生、そして理解・協力して下さい仲間・家族に心からお礼を申し上げます。

今後は歩幅を少しゆるめて、ハーモニカの演奏に味わいある深い音色を求めて行きたいと思っています。（代表 高阪他美子）

西日本コンテストに出場して

大アンサンブル部門優勝

プカプカバンド

コンテストに参加しての感想は、全員一致で「楽しかった」でした。コンテストまで約10か月弱の練習でしたが、中だるみや煮詰まることもなく、練習を積み重ねていけたと思います。これは選曲によるところが大きかったように思います。「サウンド・オブ・ミュージック」はよく知っている曲なので、出来上がりを想像しながら練習することができました。

しかし、メドレーならではの難しさもありました。例えば、手前の曲のテンポに引きずられて、次の曲のテンポがなかなか作れない箇所がありました。それぞれの曲のテンポをしっかりと身体に叩き込むだけではなく、演奏者はどのタイミングで楽器を構えれば、次の曲のテンポに乗っていけるのか、指揮者はどのように振るのがわかりやすいのか等も皆で考えました。

結成18年を迎えた私たちプカプカバンド。目や耳が悪くなり、「合奏は無理」と退会していた元メンバーからの応援は、コンテスト挑戦に向けて大いに励みになりました。これからも週1回の練習といろいろな施設への出前演奏を活動の中心に、よりよい演奏を目指して、“楽しく”精進したいと思います。（尾本順子）



常任理事会実施報告

事務局 角野まゆみ

2016 年第 6 回常任理事会報告

1. 日時 2016 年 10 月 17 日 (月) 午後 6 時
より

2. 場所 ふんふんさろん

3. 議題

(1) 事業部行事

- ・ 合宿交流会実施報告
- ・ 関西ハーモニカ祭り
- ・ 2017 年交流旅行

(2) 部局報告、その他

- ①事務局・新理事推薦については改選時期まで
待って頂く。

- ・ 2017 年ハモ祭りと奈良国民文化祭有料コ
ンサート (仮称) について

- ・ 「尼崎ハーモニカエコーズ 32 年のあゆみ」
記念誌は事務局にて閲覧できる。

- ・ 2017 年 2 月 6 日常任理事会は無しとする。

- ②編集局 「情報伝達補完システム」の構築につ
いて (案)

- ③会計部 2016 年度決算の見込み他

- ④組織部 会員動向について

- ⑤研修部 研修会受付状況について

- ⑥その他 著作権の認識について

“行って！見て！聞いて！”（私の備忘録）vol.3

岩本 洋之

「宮本武蔵と“リズム”」そして「鍛錬」につ
いて

2001 年にヨーロッパに行き、ポーランド
国立ショパン・アカデミーを見学させて頂
いた時の私の備忘録に「宮本武蔵の人氣が
すごい」「五輪書が読まれている」と書い
ています。

帰国後「宮本武蔵のすべて」（新人物往
来社）岡田一男・加藤寛編を購入して俄か
勉強したことがありました。それから 5 年
後にハーモニカを本格的に始めましたが、
「物事にはすべて拍子（リズム）というも
のがあり・・・」と「五輪書」にリズムの
重要性が強調されていたのを思い出したも

のです。「音楽・舞踊はもちろん、武芸全
般、商売、恋愛、人の一生も同様、皆リズ
ムがこれを左右する」と書いてあり、外国
人も非常に共感するようです。

リズム感の体得とともに「音楽家は 1 曲
を仕上げるのに最低 1,000 回の練習をしな
ければならない」と言われておりハーモニ
カにも通用することですが、日本語の「鍛
錬」という言葉は「五輪書」から来ている
そうです。「五輪書」には以下のように書
かれています。

「千日の稽古をもって鍛とし、万日の稽古
をもって錬とす」すなわち「鍛錬なり」

2016 年度 第 2 回研修会報告

「リズムと表現法 Part II」心・技・体でいこう！

研修部 永野富康



背筋を伸ばして元氣よく

平成 28 年 8 月 21 日（日）外気温約 37 度の猛暑の中、小林由美子先生の研修に 83 名の方々が出席されました。吹上理事長の挨拶に続き、小林先生の第一声は、「今日は大きな声、心、技を鍛えてもらいます。そして発信していただき、充実した心で帰って頂きたい」から始まりました。



「心・技・体」の体（リズム）から講義始まる

研修テーマは、大の相撲ファンである先生が考え抜かれた「心・技・体」です。教材は「キラキラ星変奏曲」「真っ赤な太陽」、変わったところで、大相撲力士会の「ひよの山数え歌」でした。

1. 体（リズム）

スポーツの鍛え方にはまずそれぞれの基礎練習があります。アメフトのダッシュのように、音楽ではまずリズムです。音楽コンクールの審査ポイントは、表現の内容、間、音の伸び、流れ、テンポ、強調している部分、その上に人に感動を与える芸術性です。

音楽は時間の芸術です。そのためにはハーモニカの特性を知ること。第 1 に音量が小さいこと。マイク使用でも耳に届いてこない方もいます。一杯音楽を聴いてほしい。

リズムの習得には、ドラムかダンスを始めてください。姿勢は、背筋を伸ばし、心はリラックス、お腹をへこまさないように集中して下さい。

演奏するとき、ハーモニカの角（かど）を親指の腹で押さえつけない。軽く支えるつもりで、柔らかく保持してください。大きな音を出すには、出そうとしないと出ない。思いっきり大きなアーを発声、切ってアッ、アッ、アッ、そのときお腹が動いていること。

リズムの基本練習で大事なものは、拍打ちと“間”を感じる。4 拍子で 1・3 拍と 2・4 拍を打ってみる。メトロノームに合わせて“間”とアクセントの付け方も体験。ここで、「真っ赤な太陽」

をバックに手足を使って好きなリズム打ちをしました。リズム練習の際、メトロノームはつけっぱなしにして続けてください。拍感がついて来たらスピードを変えてみる。他のことをしながらでも一瞬集中すると良いです。

続いて、大相撲力士会の「ひよの山かぞえ歌」1～10番までリズムカルに歌いましょう。歌詞に深い味があり、ハーモニカ練習の心構えに通じるものがあります。歌詞だけなので耳コピーで楽譜を書き留める練習もして下さい。因みに歌詞を2つ。

(1) ひとつ ひとりで言えるかな？

おはよう ありがとう ごめんなさい
こんにちは いただきます 大きな声で
ハッキヨイ！ ハッキヨイ！ 大相撲
ハッキヨイ！ ハッキヨイ！ 大相撲

(10) どうとう むかえた千秋楽

いろんな想いが 胸かすめ
強く 正しく 感謝して！
ハッキヨイ！ ハッキヨイ！ 大相撲
ハッキヨイ！ ハッキヨイ！ 大相撲

2. 技（メロディー）

音楽は、心地よく演奏したい、聴きたい。それには、本体を磨く基本練習の上に奏法があります。スラーやスタッカート記号を正しく読み取って練習することや、アクセント記号ではキレのある出し方についても丁寧な説明がありました。

教材の「キラキラ星変奏曲」を4小節交代で次々テーブルを移動、ほぼ全員がリレー演奏しました。そして公開レッスンとして1チーム



アンサンブルの御指導（ピッコロコロ）

ピッコロコロが「風雪流れ旅」の指導を受けました。

3. 心（ハーモニー）

以上を総合して、小林先生の熱い指揮のもと、全員で「真っ赤な太陽」を4パートで合奏。バス、コード担当はコードネームをほんの少しのリハーサルだけで伴奏し、全員が習ったばかりのポイントを生き生きと表現できました。



熱心にメモを取る講習参加者

こうして暑い日に熱いご指導を頂き、充実の1日を送らせていただいたことを感謝しつつ帰途につきました。

<第2回研修会アンケートの結果>

参加者：総数83名（個人会員43名、団体会員39名、非会員1名）

アンケート提出者：男性13名、女性12名（50代4名 60代5名 70代9名 80代4名）

感想

- ・リズムトレーニングが難しかったが勉強になった。
- ・聞いて、吹いて、体験できて良かった。
- ・スラー、スタッカート、アクセントのとり方など、目からウロコ。
- ・楽しくて分かりやすかった。
- ・心技体の基本は身体を使うことなど情熱を込めて教えていただいた。
- ・ハーモニカ音楽つくりの本質を具体的に説明いただき、参考になった。
- ・全員参加型の明るく飽きない研修だった。

2016 年度第 3 回研修会報告 ～良い演奏の色々なテクニック～

研修部 住田陽子



秋晴れの 10 月 30 日(日)、第 3 回研修会が愛日会館で行われました。最初に吹上晴彦理事長より講師の宇佐美進先生の紹介がありました。

平成 27 年日本ハーモニカ大賞を受けられた先生は、平成 12 年まで 20 年間関西で活躍され、多い時で年 10 ～ 20 回のステージをこなされたそうです。平成 13 年に四国に帰られ、現在四国ハーモニカ連盟(約 400 名)の会長をしておられます。

3 歳の時に、父親からもらったハーモニカを吹き始め、高校から 10 年間の中断があったそうですが、現在まで独学でハーモニカを学び、色々と考案し、体験したことをお話し下さいました。

1. ハーモニカ奏法の基本

- ① 口や頭を動かさずに、ハーモニカを動かす。
- ② 次の音を吹く時は、瞬時に、次の穴を見ずにハーモニカを移動出来るよう、体で覚える。
- ③ 上下の移動は、ハーモニカを上下させる動作と前後に出し入れする動作を同時に行う。
- ④ 口の形は「オ」か「ホ」の形で口の中は丸くなっている程良い。口腔の形で音が違う。
- ⑤ 音の出始めが一番大きく、そこから徐々に小さくなっていく。音は余韻が残るように。
- ⑥ ブレスは一瞬で息が吸えるように訓練する。余った息、足りない息は、鼻から同時に吐いたり吸ったりする。同じ音が連続する時は(バスやコードのように)一音一音、鼻から息を

吸う訓練をする。

2. 良い演奏をするには

- ① 詩をよく理解し、情景を思い浮かべて、ハーモニカで歌う。
- ② 曲の一音たりとも見逃さず演奏計画を立てる。可能な限りハーモニカを動かさず演奏できないか。ドレミファソラシドを速く吹くには、ハーモニカを左右に動かさず、出したり入れたりする「たて奏法」を考えた。くわえ方を広くしたり狭くするのに舌を使う。
- ③ 一フレーズは一息で吹く。
- ④ 調律のできたハーモニカを使ってほしい。ハーモニカは、上下 2 枚のリードの周波数を変えてあり、同時に吹いた時にうねりができる。音のうねりが合うように自分で調律出来るのが良い。
- ⑤ 音には余韻を。フレーズの最後を大切に。
- ⑥ 強弱では、pp(ピアノッシモ)が特に大切。
- ⑦ 半音奏法が滑らかに出来るように。

3. 良い演奏のテクニック

- ① 2 穴奏法
2 穴ずつ演奏する奏法で、速い曲を演奏する時に有効。
12 3 3 | 565 5 | 32 1 2 | 3 - - |
例えば 12 を演奏する場合はハーモニカを動かさない。56 も同様。



② 3→4 穴奏法

重音の場合、主メロディと副メロディで音の大きさのバランスを変える事が可能。例えば

$$\begin{array}{c|c} \begin{array}{ccccccc} \underline{5} & 1 & \underline{3} & \underline{5} & \underline{1} & \underline{1} & \underline{6} & \underline{6} \\ 0 & \underline{1} & \underline{3} & \underline{3} & \underline{3} & \underline{4} & \underline{4} \end{array} & \end{array}$$

主音ミを大きくドの音を小さくするには、ドレミファまで4穴をくわえる。ミの音は口の中心に穴が来るので大きく鳴り、ドの音は口の左端に来るので小さく鳴る。すると主メロディが引き立つ良い演奏が出来る。

③ ベース奏法

軟らかいベース、大小差のあるベース、鋭敏なベース、開放ベース、ワルツ奏法は曲に合わせる。例として「母さんの歌」「スワニー河」のベースを練習しました。ここでも上記4穴奏法の説明がありました。

④ オクターヴ奏法

吸音の美しいオクターヴ音を出すには、9穴くわえ5穴舌で押さえてブロックする。

⑤ 音切れの良い演奏

- 分散和音は音切れの良くなるように練習する。

$$\begin{array}{c|c} \begin{array}{cccc} \underline{1} & - & - & - \\ 0 & \underline{30} & \underline{30} & \underline{30} \end{array} & \end{array}$$

4穴程度のくわえ方でスタートし、くわえる穴を増やし(口を左に1穴広げるような気持ちで)5度音を出します。

- グリッサンドは、口を小さくし隣の音が入らないように、切れをよくする。

⑥ トリル奏法

速いフレーズやトリルのような装飾音は一息で。一音一音正確に。34343434…と息つぎなして吹く。吹吸の空気の量のバランスが取れること。35353535…では、ミとソが確実に

に鳴るように。

吹上理事長が「今日はハーモニクス大阪の演奏の再現を予定していたが中止となり残念です、全てを計画立てて行う素晴らしい先生です」と言われました。小林研修部長が「難しい曲を吹いても結局、基本に戻ります。たくさんの資料を練習に役立てて下さい」と締めくくられました。最後に、宇佐美先生が「荒城の月(幻想的変奏曲)」の演奏を聴かせて下さいました。

ハーモニカの基礎練習の大切さから、4穴奏法でメロディーを聞こえるようにする方法など多くの奏法を教えて頂き、有意義な研修会でした。



< 第3回研修会アンケートの結果 >

参加者：総数 92 名 (個人会員 38 名、団体会員 49 名、非会員 5 名)

アンケート提出者：男性 16 名、女性 18 名 (50 代 2 名 60 代 10 名 70 代 16 名 80 代 5 名)

感想

- 暖かく親しみやすい先生で、丁寧で分かりやすかった。
- 基本に戻り、忘れていた事を思い出した。
- 永年の貴重な研究成果をありがとうございます。
- 地道な練習を続ける事の大切さを学んだ。
- 日頃難問に思っていた所、悩んでいた所など、これからの練習に役立てたい。
- ハーモニカの奥の深さに気づかされました。
- 演奏計画、2 穴、3→4 穴奏法、とても勉強になった。

2017 年度 研修会のご案内

研修部長 小林由美子

2017 年度も下記の内容で研修会を実施いたします。皆さん、奮って参加くださいますようご案内いたします。

参加費は、今後のさらなる継続性と発展を考慮した結果、2017 年度より会員 1,500 円、非会員 2,500 円とさせていただきます。

会 場：愛日会館

大阪市中央区本町 4-7-11

電話 06-6264-4100

研修時間：毎回 14:00~16:30

参 加 費：会場にてお支払い下さい。

人 数：70 名（先着順、予約が必要です）

申 込 先：丸山茂生

TEL/FAX 072-793-7164

第 1 回

<日 程> 5 月 21 日（日）

<講 師> 水野隆元

（複音ハーモニカ奏者）

<内 容> テーマ：「演奏における基礎的で重要な事」

複音ハーモニカの呼吸法、演奏におけるエネルギーの使い方、フレーズの捉え方、など

<講師プロフィール>

ハーモニカを岩崎重昭氏に師事。

F.I.H. JAPAN（世界ハーモニカ連盟日本支部 1991）、アジア・太平洋ハーモニカフェスティバル（台湾・1996）、F.I.H. 世界ハーモニカ・コンテスト（ドイツ・1997）、全ての大会において複音ハーモニカソロ部門第一位。

DAAD（ドイツ学術交流会）の給費奨学生としてドイツで音楽学を専攻。

慶應義塾大学大学院にてコンピューター・ミュージックを学び、新しい音楽の形を模索。現在、作曲家と共に、複音ハーモニカのオリジナル曲を残すことを目的に活動中。

日本ハーモニカ芸術協会師範、複音ハーモニカコンクール審査員、グレード審査委員、F.I.H. ハーモニカ・コンテスト審査員。

第 2 回

<日 程> 7 月 2 日（日）

<講 師> 吹上晴彦

（関西ハーモニカ連盟理事長）

<内 容> 佐藤秀郎作品集より、「出船」夜想曲を取り上げ、講師が演奏の思いを伝え、参加者にマスターしていただきます。

第 3 回

<日 程> 9 月 3 日（日）

<講 師> 楠 光恵

（ハーモニカ振興会専任講師）

<内 容>

テーマ：「力まず正しいテクニックを！」

3 穴・5 穴・ベース編

第 4 回

<日 程> 11 月 12 日（日）

<講 師> 調整中

- * 会場・時間・人数・申込先は昨年と同じです。
- * 定員を超えた場合は、参加をお断りすることになりますので早めに申し込み願います。なお、当日のキャンセルについては運営の都合上、会費をいただきますのでご了承ください。
- * 申し込みは、一枚の申込書（右ページ）で複数回の参加申し込みが可能です。



関西ハーモニカ連盟 研修会申込書（個人）

(会員番号) _____ (氏 名) _____

(連絡先電話) _____ () _____

ご希望の回を○で囲んでください。(一度に複数回申込み可能です)
(第1回 第2回 第3回 第4回) 研修会に参加する。

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書（団体）

(団体番号) _____ (教室：サークル名) _____

(代表者名) _____

(連絡先電話) _____ () _____

ご希望の回を○で囲んでください。(一度に複数回申込み可能です)
(第1回 第2回 第3回 第4回) 研修会に参加する。

(団体会員氏名欄) 参加者計 人



☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆

2016 年 11 月 15 日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局



日 時	イベント及び開催者名	会場及び問合せ先 他
11 月 18 日 (金) 13:00 ~	吉村則次クロマチックメンテナンス 講習	堺市ベルマージュ 【問】 吉村 072-251-9398 (FAX 共)
11 月 19 日 (土) 12:30 ~	梁木進 複音ハーモニカ公開レッスン 【WEB】	新大阪ココプラザ 1,000 円 【問】 梁木 090-8655-6045
11 月 20 日 (日) 13:00 ~	寺村安雄主催「複音ハーモニカ講習会」 【WEB】	愛日会館 要予約 受講料 2,000 円 【問】 寺村 072-297-5737 (FAX 共)
11 月 20 日 (日) 13:00 ~	梁木進 個人レッスン	ふんふんさろん 3,000 円 【問】 梁木 090-8655-6045
11 月 27 日 (日) 13:00 ~	第 8 回吉村クロマチック教室発表会 【WEB】	堺市北野田フェスティバル・フラットホー ル 【問】 吉村 072-251-9398
12 月 4 日 (日) 13:00 ~	梁木進 複音ハーモニカ公開レッスン 【WEB】	ふんふんさろん 1,000 円 【問】 梁木 090-8655-6045
12 月 7 日 (水) 19:00/20:00/21:00	徳永延生ライブ	北区茶屋町ガーデンビル 5F Live Azul 要予約 有料【問】徳永 090-3723-0705
12 月 11 日 (日) 13:00 ~	クリスマスハデコンコンサート 教室の 先生方&イベント舞台の裏方さんの派 手派手コンサートです 【WEB】	新大阪ココプラザ 【問】 H 企画梁木 090-8655-6045
12 月 11 日 (日) 10:00 ~	寺村安雄合同クリスマスコンサート	堺市東文化会館 入場無料 【問】 寺村 072-297-5737 (FAX 共)
12 月 11 日 (日)	ハモニ館 望年コンサート	大阪市西区 徐園
12 月 13 日 (火) 19:30/21:15	徳永延生ライブ	心斎橋筋アクロスビル4F RUG TIME 2,500 円 【問】 徳永 090-3723-0705
12 月 23 日 (金)	寺村安雄「郷土歌の集い」 関西芸能文化振興会主催	池田市市民会館アゼリアホール 【問】 寺村 072-297-5737 (FAX 共)
2017 年		
1 月 8 日 (日) 13:00 ~	梁木進 個人レッスン	ふんふんさろん 3,000 円 【問】 梁木 090-8655-6045
1 月 15 日 (日) 13:00 ~	梁木進 複音ハーモニカ公開レッスン 【WEB】	新大阪ココプラザ 1,000 円 【問】 梁木 090-8655-6045
1 月 29 日 (日)	徳永教室発表会	阪急武庫之荘 ライブ・スポット・アロー 見学入場料 1,000 円
2 月 11 日 (土、祝)	関西ハーモニカ連盟 2017 年度定時総会	徐園
2 月 12 日 (日) 13:00 ~	梁木進 複音ハーモニカ公開レッスン	ふんふんさろん 1,000 円 【問】 梁木 090-8655-6045

日 時	イベント及び開催者名	会場及び問合せ先 他
2月 15日(水)	徳永延生ライブ	Live Azul 有料 【問】徳永 090-3723-0705
3月 5日(日) 13:00～	梁木進 個人レッスン	ふんふんさろん 3,000 円 【問】梁木 090-8655-6045
3月 9日(木) 11:30～	徳永延生有生ランチタイムコンサート	三田市総合文化センター 郷の音ホール チケットセンター 079-559-8101
3月 12日(日)	木原淳主催 第10回複音ハーモニカ吹きまくり会	宇治市ふりーすぺーす宇治日和 入場無料 出演 1,000 円 【問】木原 0774-23-6631
3月 18日(水)	梁木進 複音ハーモニカ公開レッスン	新大阪ココプラザ 1,000 円 【問】梁木 090-8655-6045
4月 10日(月) ～ 13日(木)	徳永サウンド研究会ゲアムの旅 徳永サウンド研究会主催 ゲアム政府・ 新潟ゲアム親善交流協会後援	69,500 円～
5月 14日(日) 13:00～	梁木進 誰でもステージ吹きまくり	ふんふんさろん 1,000 円
5月 21日(日)	連盟主催 第1回研修会	愛日会館
7月 2日(日)	連盟主催 第2回研修会	愛日会館
8月 20日(日)	ハモニ館第2回リサイタル	あましんアルカイックホール・オクト 有料【問】ハモニ館 吹上
9月 3日(日)	連盟主催 第3回研修会	愛日会館
9月 15日(金) 16日(土)	連盟主催 宮崎へ交流旅行予定	【問】事業部梁木
10月 7日(土) 8日(日)	連盟主催 関西ハーモニカ祭り 奈良国民文化祭の一環として開催	なら 100 年会館
10月 15日(日)	吉村教室発表会	堺市北区北野田フェスティバル・フラッ トホール 【問】吉村 072-251-9398
11月 1日～5日	World Harmonica Festival. 詳細は www.whf-2017.de 参照	Trossingen Germany
11月 12日(日)	連盟主催 第4回研修会	愛日会館

【問】問合せ先 【WEB】ホームページ参照の略号です、ホームページの詳細な掲載をご覧ください。
過去のカレンダーはホームページの「会報バック No.」をご覧ください。

<http://harmonika-renmei.studio-web.net/>

●問合せ先：

全日本ハーモニカ連盟事務局 048-446-6126 FAX 048-445-6161
 徳永延生（特別顧問：クロマチック奏者） 06-6934-7266
 H企画 梁木 072-284-8808
 ふんふんさろん 06-6352-8005 FAX 06-6353-1393
 ハモニ館 吹上 0798-22-1844(FAX 共通)
 寺村安雄 072-297-5737(FAX 共通)



ハモ二館 第9回夏季宿泊研修会

福田徹士



第9回ハモ二館夏季宿泊研修会は、2016年7月31日～8月1日、兵庫県猪名川町の「高原ロッジ・メイプル猪名川」で行われました。第7回から同じ場所ですので、皆さん様子が分かっており、各教室の仲間や知り合いの方々がグループとなって着席、和やかな雰囲気です。参加者は48名で（前회가52名）例年と大体同じ規模で家族的な研修会です。

一日目の研修は、午後1時から小林由美子先生の挨拶で始まりました。今回は時間を惜しんで詰め込むのではなく、おおらかに楽しく研修しましょうということです。そして今回の研修テーマは「音楽の基本は聴くこと！」です。相手の演奏をよく聴いて、自分だったらどう表現するか、自分の音はどんな音色かをよく確認するということです。

最初は「1分間自己アピール」です。暗譜でハーモニカを吹いてから自己紹介するという方法で、前回と同じルールでしたので皆さんの理解も早く、創作で面白く紹介される方、また無情なカ



ネで自己紹介半ばで中断させられた方もいて笑いを誘い、研修へのウォーミングアップとなりました。

いよいよここから研修の始まりです。先生が配られたプリントによる基礎練習。「4分音符、8分音符との組み合わせ」、「16分音符と8分音符の組み合わせ」を全員で吹いて音符の長さやリズムを理解し、吹く時の姿勢、ハーモニカのくわえ方などを教わりました。

次に課題曲「きらきら星変奏曲1」を全員で練習し、その後、席順に2小節ずつ最後まで吹くという練習です。それが更に進んで先生に当てられた方が順番に後を続けて吹く、途中で止まれば完成するまで何度も繰り返すという厳しいものでした。これが「音楽の基本は聴くこと！」



の実践教育かと思います。

更に「きらきら星変奏曲2」を全員で練習。カデンツァ、トリル、スタッカート、アクセントなどの奏法を学び、また腹式奏法を椅子に腰かけて習得するノウハウも学びました。

日帰りの方もあって、その方々の課題曲の演奏を聴き、また先生からはプレゼント曲の、「歩」「なごり雪」の紹介を受けた後、模範演奏を聴きました。吹く前に「まず歌う」とことと教えられて、全員で歌ってから練習をしました。最後に全員の記念写真を撮り、一日目の研修は終わりとなりました。



懇親夕食会は6時半から最長老の田口光信さんの乾杯のご発声で始まりました。宴が賑やかになり始めると、小林先生と吹上先生が日本酒とビールを両手に各席を廻られ会場は笑いに包まれて研修の疲れも吹っ飛んで行きました。程なく吹上先生がカラオケ第一声を上げられると、次々と歌好きの方が登場して更に宴会を盛り上げてくれました。ここで歌い足りない方は二次



会への誘いとなりました。

二日目は9時半から研修開始。全員で課題曲の練習。「五木の子守唄」では分散和音の完全習得を目指して何度も練習。あまり深くくわえない、口幅は一定に、力を入れない、やり直さな

いで自分の音をよく聴くなど基本を教わりました。次に「おんな船頭唄」の歌詞の説明を受けて、作詞者の気持ちを理解し、その気持ちをどう表現するかを考えて吹くことを教えられました。次は「ドリゴのセレナーデ」を先生から戴いた楽譜で練習。これで午前中の研修は終了しました。

午後は課題曲の発表です。演奏者一人ひとりが両先生の講評を受け、本人は自分の弱点を知り、聴く人は自分だったらどう吹くかとの思いが生まれて、次への目標に繋がります。この学びこそがハモニカ館夏季研修の良さではないかと



思います。

最後は10月の「関西ハーモニカ祭り」で発表する「朝日カルチャー川西グループ」のアンサンブル「ムッチーメドレー（無法松の一生、王将、皆の衆）」が披露されました。それからプレゼント曲「なごり雪」「歩」を全員で吹いて、今回の研修会を締めくくりました。小林先生、吹上先生、世話役の皆さん、ありがとうございました。



高阪ハーモニカ教室合同発表会 10 周年記念コンサートを開催

須磨パールエコース代表 羽原伸示

去る 11 月 3 日、「文化の日」に相応しく (!!) 私たちの『10 周年記念コンサート』が神戸の生田文化会館で開催されました。この合同発表会は、高阪他美子先生ご指導の門下生 4 教室(須磨・塚口・鈴蘭台・小野)が、平成 19 年 7 月に第 1 回目を神戸葺合文化センターで開催して以来、今回が節目の第 10 回目となりました。どのような内容にするか、皆で 1 年間検討を重ねて実現しました。



すずらんハーモニカフレンズ「アルプスの牧場」

第一部 10 年のあゆみ (合奏)

4 教室の 10 年を語りと映像で振り返ると共に、それぞれが印象に残った 2 曲を選んで演奏しました。須磨は「クワイ河マーチ」「旅の夜風」、塚口「ひょっこりひょうたん島」「とおoryんせ」、鈴蘭台「アルプスの牧場」「毬と殿様」、小野「高校三年生」「昔の名前で出ています」と多彩な選曲でした。

第二部 思い出の 1 曲

ソロ、デュオ、アンサンブル等で映像をバックに演奏しました。

第三部 感謝

最初に友情出演で、地元の高倉台・高寿会「すずむしコーラス」によるコーラスが花を添えて下さいました。そして、講師の高阪先生とゲストの西田幸司、村上浩一両先生に、素晴らしい演奏をして頂きました。そのあと、4 教室全員

で「喜びも悲しみも幾年月」を高阪先生の指揮で大合奏。ぶっつけ本番でしたが、皆の息はぴったりでした。最後に、村上先生の指揮で、「ロングロングアゴー」と「明日があるさ」の 2 曲を会場の皆さんと一緒に歌い、演奏してフィナーレとなりました。

演奏会後の懇親会では、各教室の恒例の工夫をこらした出し物で、大いに盛り上がりました。一部に、演奏にあわせて語りと映像を取り入れた今回の企画でしたが、お客さんの講評が気にはなるところです。会場には、連盟の仲村真会長、そして音響でスズキ楽器の竹森雅裕氏が駆けつけて下さり、また、多くの先輩、知人の方々がおいで下さり、有難うございました。紙面をお借りして、改めてお礼申し上げます。



10 周年を記念して

新井ファミリー・手作りコンサートを開催しました

ハーモニカズ・アバンドーネ 林 和子



2016（平成28）年9月24日土曜日、ハーモニカズ・アバンドーネ主催の「新井ファミリーコンサート」が京都教育文化センターにて、参加メンバー41名で行われました。このコンサートは、故新井善久先生が始められ、第1回～10回まで開催されました。その後は新井尚子先生にご指導をお願いしています。

故新井先生が始められたファミリーコンサートを継続したいとのメンバーの思いから企画委員会を立ち上げました。開催期日は尚子先生と相談して決定。会場選び、プログラム作り、当日の司会進行などは企画委員が分担しました。今回が第2回目となるコンサートです。

当日は開場が午後1時15分にもかかわらず、11時すぎにはメンバー全員が集合し、不慣れな会場設営はセンターの職員の方々の協力を得て、手作りコンサートが始まりました。

大アンサンブル、小アンサンブル、ソロ、デュオと一人一回は出演する形で進め、日頃の練習の成果を発揮することができました。全員の発表演奏の後に、企画委員の伴奏で、会場全員で歌って、お客様にも楽しんでいただきました。

最後は「お楽しみコーナー」として、<中村浩一、新井尚子のミニライブ>を行いました。プロのギターとプロのハーモニカの凄い迫力のライブに会場は感動、聴き入ってしまいました。そし

て私たちのファミリーコンサートに大輪の花を咲かせてくださったことは嬉しい限りです。ライブ後、尚子先生のお話の中でコンサートについて「父も喜んでいるでしょう」との言葉があり、胸にグッとくるものがありました。

予定通りにコンサートを終えて、部屋を変えての打ち上げ懇親会。ここでも予定通りに楽しく進み、飛び入りタップダンスもあって盛り上がりました。第1回～10回まで、コンサートのレールを敷いてくださった故新井先生の“思い”を継いで、これからも「新井ファミリーのアットホームなイメージを壊さぬようにコンサートを続けていこう」と皆で確認し、次回へ向けての思いを話し合いました。コンサートが無事に楽しく終了し、安堵すると共に充実した一日となりましたことを企画委員の一人として報告させていただきます。



垂水ハーモニカ友の会 第12回発表会を開催しました

垂水ハーモニカ友の会代表 渡邊義明

当日の朗報！ 村上浩一先生が受賞の新聞報道

2016（平成28）年10月29日（土）、垂水ハーモニカ友の会の「第12回みんなのハーモニカ発表会」を神戸市垂水勤労市民センター・レバンテホールに於いて開催しました。

当日は木枯らし1号が吹くかもしれないとの天気予報があり、朝方の開催地上空は暗雲に覆われている状況でしたが、幸い大きな崩れはなく、13時の開演時には会場が満席となり、有難さで感動した次第です。演奏はオープニング曲の「高原列車は行く」からでした。

偶然にも当日、神戸市の平成28年度の文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞を神戸新聞朝刊が報じ、その中に村上浩一先生が、長年にわたるひたむきな文化活動をされた方に贈られる「文化活動功労賞」に選ばれて、11月16日に贈呈式が行われるとの記事が掲載されました。

この大変おめでたいニュースを急ぎよ会場の皆様に紹介しました。舞台に登場いただいた村上先生は「図らずもこのような賞を贈られたことは大変光栄であり、今後ともハーモニカ活動



友の会のアトラクション合奏



満席のレバンテホール



受賞の挨拶をされる村上浩一先生

に頑張って参ります」とご挨拶を述べられ、ご来場者様と演奏者から万雷の拍手が湧き起りました。

この朗報は指導を受けている私たちの演奏の活力となり、一挙に発表会は盛り上がる状況となりました。友の会による独奏、重奏、合奏、これに他楽器共演、フラダンス共演を含め37曲。そして毎回発表会で素晴らしい演奏をしていただいている賛助出演の「NHK 神戸マリンハーモニー」の皆さんによる合奏2曲。同様にご出席いただいているゲストのデュオ「た〜た&ま〜い」（高阪他美子さんと松岡郁子さん）による2

曲。並びに特別演奏として村上浩一先生による2曲。合計43曲の演奏は順調に進行し、ほぼ予定時間内に終演となりました。

演奏曲の中には、会場の皆様に歌っていただくアトラクション曲4曲とエンディング曲「また逢う日まで」があり、指揮の村上先生が一番大きな声で歌われるほどのパワーを発揮されて舞台と会場は一体となって迫力ある合唱となりましたので、皆様に楽しい時間を過ごしていただけたと思います。ご来場の皆様とご共演いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

11月16日に贈呈式がありました！

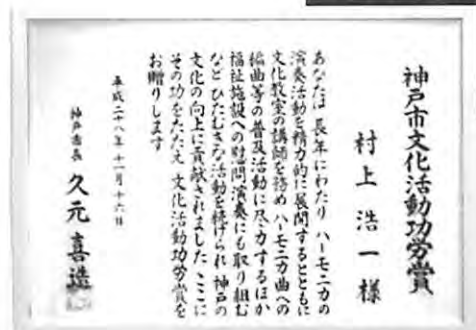
第12回発表会の後、11月16日（水）の午後、神戸市文化賞等3賞の2団体、11個人に対する贈呈式が神戸市の相楽園会館大ホールにおいて和やかな雰囲気のもとで執り行われ、久元喜造神戸市長から文化活動功労賞「芸術・音楽（ハーモニカ）」の賞状等が村上浩一先生へ贈呈されました。先生はご家族同伴でご臨席、ハーモニカ教室の面々も列席する中、終始晴れ晴れとして

おられました。

当日、相楽園では菊花展が催されており、大ホールから眺める山水の庭園の紅葉が陽射しに照らされて、贈呈式にひとときわ鮮やかな彩りを添えている様子が印象的でした。村上浩一先生の受賞を祝し、今後の益々のご活躍を祈念申し上げます。



2列目右から2人目が村上浩一先生、後方は同伴のご親族



神戸市から贈呈された賞状（先生ご家族の提供）

NHK神戸マリンハーモニー

代表 吉村 望

1. 所在地 神戸市長田区若松町 5-5-1
新長田勤労センター
2. 指導者 村上浩一先生
3. 練習日 毎月第1、第3の金曜日及び
第2、第4の日曜日
4. 会員数 18名（男性11名、女性7名）
5. 年齢 平均70歳代（80歳後半～60
歳前半）
6. 練習場所 新長田勤労センター及び
NHK文化センター神戸教室

NHK神戸マリンハーモニーは、1996（平成8）年10月に村上浩一先生を講師として発足したNHK神戸文化センターの「楽しい複音ハーモニカ」講座がその原点になっています。この講座のメンバー有志が、更に練習をして上達を目指したいとの思いで、2004（平成16）年1月に神戸の新長田勤労センターで「NHK神戸マリンハーモニー」を結成し、月2回の練習日を加え現在に至っています。ここでも村上浩一先生のご指導の下“楽しく”をモットーに練習に励んでいます。

その成果の発表の場として、年1回、関西ハーモニカ連盟後援のもと、我々主催の発表会を開催しています。またこの間、関西ハーモニカ祭りや日本ハーモニカ芸術協会定期演奏会への参加、更に垂水ハーモニカ友の会及び尼崎ハーモニカエコーズ主催の発表会へも出演させていた

だいています。

地域の施設や老人会等へのボランティア活動も行っています。昨年は、淡路島の夢舞台で一般観光客を前に演奏する機会があり、皆さんに楽しんでいただけたことはよい経験となりました。



神戸市長田区役所のサロンコンサート

この数年は毎年宿泊研修旅行を実施し、演奏技術の向上と共にハーモニカのメンテナンス講座等の日ごろ出来ないことにも取り組み、またハーモニカから離れてゲーム等にも興じ、会員同士の親睦に努めています。

更に、年に何回かは定期練習の後に懇親会を持つように努め、村上浩一先生にも必ず参加していただいています。ハーモニカという趣味を通してメンバーがこのように一堂に会し、楽しくわいわい語り合いながら練習できることは本当に良かったと思っています。



第12回発表会 神戸市中央区の中華会館



淡路島の夢舞台の演奏を終えて

アンサンブル『アカンサス』

代表 竹本雅英

1. 所在地 今井音楽スタジオ
京都市中京区綾小路東洞院東入る
2. 顧問 仲村 眞 先生
3. 練習日 毎月第3水曜日 14:00～16:00
4. 会員数 5名(男性2名、女性3名)
5. 年 齢 60～80歳台

ハーモニカの旧知の仲間が2014(平成26)年1月に自主的に結成したアンサンブルで、メンバーの居住地は他県にまたがっているため、それを集約して京都に拠点を置いて活動しております。

アンサンブルの名称「アカンサス」は古代ギリシャ建築の紋様に使用されているもので花言葉に、芸術・技巧・結束とあり、この主意に添い日頃努力を重ねておるところです。

メンバーの皆さんは夫々に錚々たる先生からハーモニカを学ばれておられ、ここではアンサンブルに特化して取り組んでおります。

発足時は、仲村眞先生より新版「森本恵夫ハーモニカアンサンブル曲集」を賜り、この曲集をベースに練習を重ね、現在は村上浩一先生の編



仲村眞先生とご一緒に

曲作品へと幅を広げておるところです。仲間同士はフランクに奏法について話し合い、曲想を練りながら向上を目指しております。更なる上昇を目指すために現役の医師としてご多忙な仲村眞先生ですが、ご厚意により3か月に1度練習に立ち会って頂き、きめ細なご指導を頂いております。

関西ハーモニカ連盟のハーモニカ祭りの出演を平成26年から計画していましたが、その年は台風で中止となり、平成27年に続き今回の平成28年で2回目の出演となりました。

アンサンブル以外にも仲間とは時折夫々が習得されたソロ曲又は得意な曲を披露しあったりしており、またハーモニカの演奏技術について話し合い又教えあうなど和気藹々のもと月1度のハーモニカを縁としてこの集いを楽しんでいます。

最後に短歌二首、アカンサスに関わる志を詠みました。



ハーモニカ祭りに出演

- ・ 派手さなく地味ではあれどしっかりと心捉えるアカンサスの花
- ・ 冠したる花に因みて結束し和みゆかしく音を奏でむ



©Jean Tosti

ハーモニカが上達するための大切なこと (65)

全日本総合音楽院・院長 世界ハーモニカ連盟日本支部 (F・I・H) 役員 池田輝樹

教育用シングル・ハーモニカのいろいろな奏法についての続きです。

⑦ かえ手

弦楽器や管楽器などでは、かえ指と言います。鍵盤楽器（ピアノ、電子オルガン、アコーディオン、キーボード等）は大抵、平均律で作られておりますので、ミの＃とシの＃はついておりません。しかし、教育用シングル・ハーモニカには大抵ついており、ミの＃とファ、シの＃とドが同じですので、それをうまく使うのです。特にミのトリルやシのトリルには最適です。これは＃のついている教育用シングル・ハーモニカには大変便利で、音階や楽曲を演奏する際には最大限に利用すると良いと思います。ただ、弦楽器や管楽器の場合は純正調の関係から言うと、ミの＃とファや、シの＃とドは違いますから留意することが肝要です。

純正調や平均律に関しましては、いつか述べてみたいと思います。各種類の和音（コード）についても他述したいと思います。

教育用シングル・ハーモニカは各社共に大変鳴りや響きが良いので、合奏に独奏にも、もっと多用されることが望ましいと思っています。ヤマハなどの製品がなくなってしまう、とても残念です。現在はトンボ楽器や日本教育楽器のサカホーンやスズキ楽器が制作しています。各社の半音付きのシングル・ハーモニカのみを次に示してみました。

<トンボ楽器製作所>

- トンボ・クロマチック・シングル
44穴 44音 ($c^1 \sim c^{44}$)
正常配列
- バイオリン・スケール
54穴 54音 ($g \sim c^{54}$)
標準配列

<日本教育楽器株式会社>

- クリアトーン
36穴 36音 ($g \sim c^{36}$)
自然配列
- サカホーン・クロマチック
(アルトとソプラノがあります)
42穴 42音 (アルト $g \sim f^{42}$)
(ソプラノ $c^1 \sim c^{42}$)
自然配列
デラックスもあります

<スズキ楽器>

- ソプラノ・シングル
37穴 37音 ($c^1 \sim c^{37}$)
正常配列
- アルト・シングル
37穴 37音 ($c \sim c^{37}$)
正常配列
(スズキ楽器のものは半音が上側にピアノ式に作られていて、ミの＃とシの＃はありません)

私の手元には教育用シングル・ハーモニカが最盛期の頃の各社の製品がたくさんありまして、どれも大変良く鳴ります。最盛期の頃はソプラノやアルトが各社ともにありまして穴数もいろいろあり、ピアノ式になっている吹音のみのものもありました。つまり、現在のソプラノ・ホルンやアルト・ホルンを小型にしたものです。

教育用シングル・ハーモニカの半音なしの（低学年向け）ものも各社が出ており、4穴、15穴、22穴等、種類も多くあります。

教育用として使用された最盛期の時代の資料もだんだんなくなってきておりますので、私が極力個人的に収集しています。後世に伝えなくてはならないと思うからです。

今までも書いてきましたが、ハーモニカをもっと盛んにするには（特に若い人）次のような事

を考えなければならないと思います。

1. 教則本や曲集をもっと出版しなくてはなりません。それも内容的に現在の若い方たちからみて、他の楽器のギターやピアノなどより劣ったものではないけません。

2. 他の楽器との共栄や共存を考えなくてはなりません。ハーモニカだけの世界に閉じこもってはいけないと思うのです。ギターやピアノ等の鍵盤楽器や現在比較的盛んな管楽器との共演や協力等、思いつくだけでもたくさんあります。

ハーモニカの世界だけに閉じこもらないで、視野をもっと広げたいものです。他の楽器の方々と（楽器のみでなく、歌などの世界の方々と）仲良くすることによってハーモニカがもっと盛んになってくるのではないのでしょうか。同じリード楽器である鍵盤ハーモニカやアコーディオン等の世界にも目を向けることによって素晴らしいハーモニカの世界が開かれてゆくことを期待しています。

ハーモニカをポケットに、糸魚川～能代 550km の旅

木原 淳

ハーモニカをポケットに、新潟県糸魚川から秋田県能代まで走りました。約 550km を 1 日約 30km、17 日間走ったり歩いたりの旅でした。8 月の暑い時期で、台風にも遭遇して大変な時もありましたが、ハーモニカのお陰で、多くの出会いがありました。

この旅のコース上で出会った音楽関連について少しお話ししたいと思います。

① 相馬御風の家

今回のスタートは糸魚川の西、富山県との境、えちごトキめき鉄道の市振駅前からでした。ここから約 20km で糸魚川市内に入ります。糸魚川市は相馬御風の出身地です。御風は、日本初の流行歌ともいわれる「カチューシャの唄」、童謡「春よこい」や早稲田大学校歌「都の西北」などの作詞で知られていて、東京での地位・名声を捨てて、突然、故郷の糸魚川に帰り、その後良寛の研究を始めた文人です。この御風の住んでいた家が残っていて、史跡になっています。残念なことに耐震工事のための改装中で中に入ることはできませんでしたが、家の前で御風の歌をハーモニカで吹きました（写真右）。

家の横の駐車場に 3 人の中学生がいたので、少し話をし、ここでもハーモニカを吹きました。彼らは、御風の「春よこい」は知っていましたが、「カチューシャの唄」は知りませんでした。次に家の向かいで私を眺めていた老婦人と話をしました。幸いに彼女は御風と親交があったのでいろいろと訊くことが出来ました。彼女は御風のことを先生と呼んでいて「先生はたびたび家にご飯を食べに来て、ここのご飯はとても美味しいと言って喜んでいた」「先生は賢い人だった。またよく気のつく人だった」「先生は東京からのお客さんがあると、必ず父の所に連れてきてい



御風宅の前で



砂山の歌碑の前で

た」など話してくれました。別れ際に「春よこい」を吹くと大きな声で歌ってくれました。

② 砂山の歌碑

「海は荒海、向こうは佐渡よ・・・」、北原白秋のこの「砂山」は、新潟市の寄居浜をイメージしたそうです。寄居浜は新潟の街の真ん中を海岸に出た所にあり、近くの護国神社には砂山の歌碑があります（写真上）。

白秋は1922年に寄居浜を訪れたときの心情を「その前は荒海で、向こうには佐渡が島が見え、灰色の雲が低く垂れ、そうして日が暮れかけていました」と書いています。天候がよくない状況で佐渡島を見ることが出来た白秋はラッキーだったと思います。といいますのは、私は柏崎から出雲崎そして新潟へと佐渡を見ることのできる海岸線を4日間走ったにもかかわらず佐渡がなかなか見えなかったのです。天気はよかったのに、時折見えても雲が島の上にかかっていたり、霞んでいたりではっきりとは見えませんでした。

ところで、この砂山の詩の中で3番の「かえろかえろよ、茱萸原わけて」の部分で「ぐみはら」と歌う人と「ぐみわら」と歌う人がいます。些細なことですが、ちょっとだけ気にかかります。「原」の読みは全国的には「はら」ですが、関東では「わら」と読まれることがあり九州では圧倒的に「はる or ばる」と読まれています。岩波文庫の日本童謡集には「はら」とルビがふつであるし、護国神社の歌碑も「はら」ひらがなで書かれているので、「はら」が正解と思われます。さすがに九州出身の白秋も、ここは「はる」と読ませることはできないと思ったのでしょうか。

③ 路谷虹児記念館

新潟市から東へ約25kmの新発田市は、童謡「花嫁人形」を作詞した路谷虹児の出身地で、路谷虹児記念館があります。虹児は、竹久夢二の紹介で挿絵画家として世に出て、後に夢二と並ぶ画家になりました。戦後は児童向けの絵本の挿絵も手がけ、私はこの絵本を今もよく覚えています。70歳代の方は路谷虹児の絵本を見れば昔の記憶のどこかに入っているのではないかと思います。

ところで画家である虹児が詩を作ったのはちょっとしたトラブルかららしい。挿絵を頼まれて出版社に出向いた虹児でしたが、詩が間に合わないの、詩も作れということになったのだそうです。間に合わなかった詩の作者は西条八十だったとも与謝野晶子だったともいわれています。

虹児記念館を訪ねたのはお盆の月曜日、開いているわけがない。小雨が降るなか、記念館の前でひとり「花嫁人形」を吹きました（写真下）。



路谷虹児記念館前で

今回の旅でも人と出会うたびに、ハーモニカが互いの交流に役買ってくれました。これまで、ハーモニカをポケットに日本の海岸線を3,000km走ってきました。最初の頃は人前で吹くには勇気が要り、また上手に吹こうと考えていました。しかし今では、ハーモニカの上手、下手は全く関係ないことが分かりました。海辺、田んぼの道、川の土手など、普段は楽器の音がない場所で音を出すことに意義があり、それが人と人を結びつけるのではないかと思います。普段は音のない場所で音を出すには、ハーモニカは本当に優れています。これからもハーモニカをポケットに、日本一周にチャレンジしたいと思っています。

「尼崎ハーモニカエコーズ 32 年のあゆみ」 —第 30 回たのしいハーモニカコンサートを記念して—

尼崎ハーモニカエコーズ代表 雑賀 健



2015(平成 27)年 10 月に開催した第 30 回の節目のコンサートを開催したのを記念して、掲題の記念誌を翌平成 28 年 9 月に出版いたしました。尼崎ハーモニカエコーズ発足から

「32 年のあゆみ」出版に至る経緯につきましては、会報 207 号(2016 年 4 月号)に掲載された通りです。

内容を一部紹介させていただきます。尼崎ハーモニカエコーズの由来、第 1 回～第 30 回の「たのしいハーモニカコンサート」プログラム、年度別活動詳細、思い出の写真、会員のプロフィールや随想など、昭和 58 年～平成 27 年の様々な活動などを記しています。

尼崎ハーモニカエコーズは平成 27 年に創設 32 周年を迎えました。阪神間のハーモニカ教室としては最大級の伝統ある教室です。特筆すべきは、村上浩一先生の 10 冊の記録ノートと

写真集をお借りできたことで、長年のデータを編集できたことです。先生のお陰でこの由緒ある教室の 32 年にわたる歴史を将来へ残すことができました。

「ハーモニカ愛好会」発足当時のことは西田先生(発起人の一人)と岡村顧問(初代会長)に随想として記述していただきました。

メンバーで編集委員会を立ち上げ、会議を重ねて内容を検討し、データ整理や PC 入力をしました。その結果、手作りながら 130 ページの立派な「32 年のあゆみ」を完成、出版することができました。ハーモニカ連盟事務局に 1 冊寄贈させていただきましたので、ご覧になりたい方はお問合わせください。



西田幸司講師



村上浩一講師



平成 27 年 10 月 10 日たのしいハーモニカコンサート 会員記念写真

素晴らしい方が大阪にもいたことを発見できた 関西ハーモニカ連盟合宿交流会

吉村則次

私は、9月3日の宮田薫さんのクロマチック・ハーモニカによる「Water Is Wide」の合奏、同日の伊藤加奈さんの司会・紹介の実践、9月4日の新井尚子さんの「恋の季節」「花は咲く」の複音・バス・コードを含めた合奏講座、に参加した。4日午後の合宿・交流会コンサートにも出演参加させてもらい、ラヴェルの「ボレロ」を吹かせてもらった。

これだけのものを成功裏に運営された事業部長以下関係者の努力に感謝したい。私も若い時には事業部長をやり、編集局長をやり、その後も連盟のハーモニカ祭り、コンテスト、交流旅行等の行事には、積極的に運営側に立って働かせてもらったので、その苦労・心労を知っている。現在は80歳を超えてその体力はなくなっており、お世話になってばかりで恐縮恐縮・感謝感謝です。

今回の私にとっての一番の成果は、関西にも素晴らしい方がおられることを発見できたことです。

宮田薫さん

ハーモニカに関しては、しっかりした方でした。京都の学校を卒業したら出身地の浜松に帰られるのではないかと心配しておりましたが、大阪に定住され、ハーモニカの世界で活躍されているのを見て頼もしく思いました。もう大阪の一員です。ハモンド梅田センターで仕事をされており、いただいた名刺には音楽教室運営担当とある。そこで教室もされており、私の生徒の一人もこの方の教室に行っています。

次に述べる伊藤加奈さんによる司会・紹介の実践講座では、参加者が二人一組になり、お互いを紹介する訓練を行ったが、私は、幸か不幸か、宮田薫さんと同じ机に座ってしまったので同じ組になり、私が宮田薫さんを紹介しなければなら

らいという立場になり、(またその逆もあった)本人についていろいろ詳細を聞ける立場になったが、本人を紹介する時に「年齢は、みんな知りたいと思うでしょうが、聞き出せなかった」と言うと、本人は「平成生まれではない」と言うておられました。

伊藤加奈さん

まず、頭がいい、声がいい、機転が利く、と感じた。どういうわけか東京に住んでおられるが、もともと東大阪市のご出身で、たびたび親元の大阪に来られているから、大阪の人と言ってよい。大阪がより好きのように見受けられる。

ハーモニカ演奏と指導、結婚式等の司会、物書き等で活躍しておられ、あの「ハーモニカ・マガジン」の編集者でもある。クロマチックでライブをするくらいの力があり、結婚式やコンサートの司会まで、仕事としてやっておられるようで、言葉遣いは優しく親しみを感じ、誰でも好きになる方である。ちなみに私がこの方と最初に会ったのは、12年前の2004年8月、香港のとあるホールであった。その後いつもここにこして接してくれる。いろいろな才能がある方だと思う。

講義では司会の実践に絡んで、発音の仕方、他人の紹介の仕方等も実践させてもらった。役に立つ楽しい講義であった。

新井尚子さん

前号p31に、私が紹介した「立山讃歌」というCDまで作曲・演奏・作成されている。これはお薦め。まわりからは「楽譜はもらったけど、あんなんやれへん」と囁かれているくらい、素晴らしい曲、また難しい曲。

4日のゲストコンサートでは、トンボの真野照久さんのアコーディオンと一緒に「リベルタ

ンゴ」、無伴奏ソロでガーシュインの「ラブソディ・イン・ブルー」を、上記宮田薫さんとデュエットで「ブルガリアン・ウエディング・ダンス」を、いずれも楽譜なしで少しの打ち合わせの後に演奏されたのには、おったまげました。羨ましいやら、“別の世界のことやからあきらめよっ”と感じました。特に、無伴奏でガーシュインをやられたのには感心！ご存知のとおり、クロマチックでは出せる和音は限られている。それを耳障りのない和音を選んでシングル奏法と混ぜ合わせて入れられていたのは、音楽の知識がないとできないことである。

亡くなられた父親（新井善久さん）の後を受けて教室で指導もされているが、当日の合奏指導から推し量ると、考え方はしっかりしており、口で歌うときにも、ラドラウラドレ／ミレミウミレド（なんの曲かお分かりかな？）と正しい音程で、きれいな声で歌われており、絶対音感のようなものも身につけておられる方かなと思う。

講座は「恋の季節」のデュエットと「花は咲く」のハーモニカ二部とコード、ベースによる合奏の練習であった。

交流会コンサート

上記、講師も務められた3人の関西の女性のクロマチック演奏に加えて、トンボの社長の真野照久氏のアコーディオン、楠光恵さんのアコーディオンと複音ハーモニカと鍵盤ハーモニカ、それに当連盟のデュオ・ユットラ、および斎藤寿孝さんによるコンサートは、来られなかった

方に対しては「来られなくて惜しかったね」（私は来て得をした、という意味）と言いたいくらいのコンサートであった。聴衆が交流研修会の参加者のみの少数であったのは、もったいなかった。もっと多くの方が、ゲストによるコンサートだけでも来てほしかった。



伊藤加奈さん



新井尚子さんと真野照久さん

外泊はつらい？

前回は土曜日が私の教室に当たったので日曜日だけの日帰り参加となった。前々回は韓国のキム・ビョンソップさんご一行も一緒に、別の意味で有意義であり楽しかった。今回は、私はフル出席できたが、年をとってくると家以外で相部屋で寝ることが苦しくなってきた。今まで

参加していたのに、今回は来なかった方もおられ、また、今回も宿泊せずに「2日とも日帰り」で参加された方もあり、会員の高齢化にともない、宿泊を嫌う方もおられたものと思う。以前の岡山との交流旅行でやってくれたように、シングルルームのホテルなら、少しお金はかかるが、体が楽で、楽しいものになるかと思う。次回のご参考まで。



セ・シ・ボン

提供 寺村 安雄

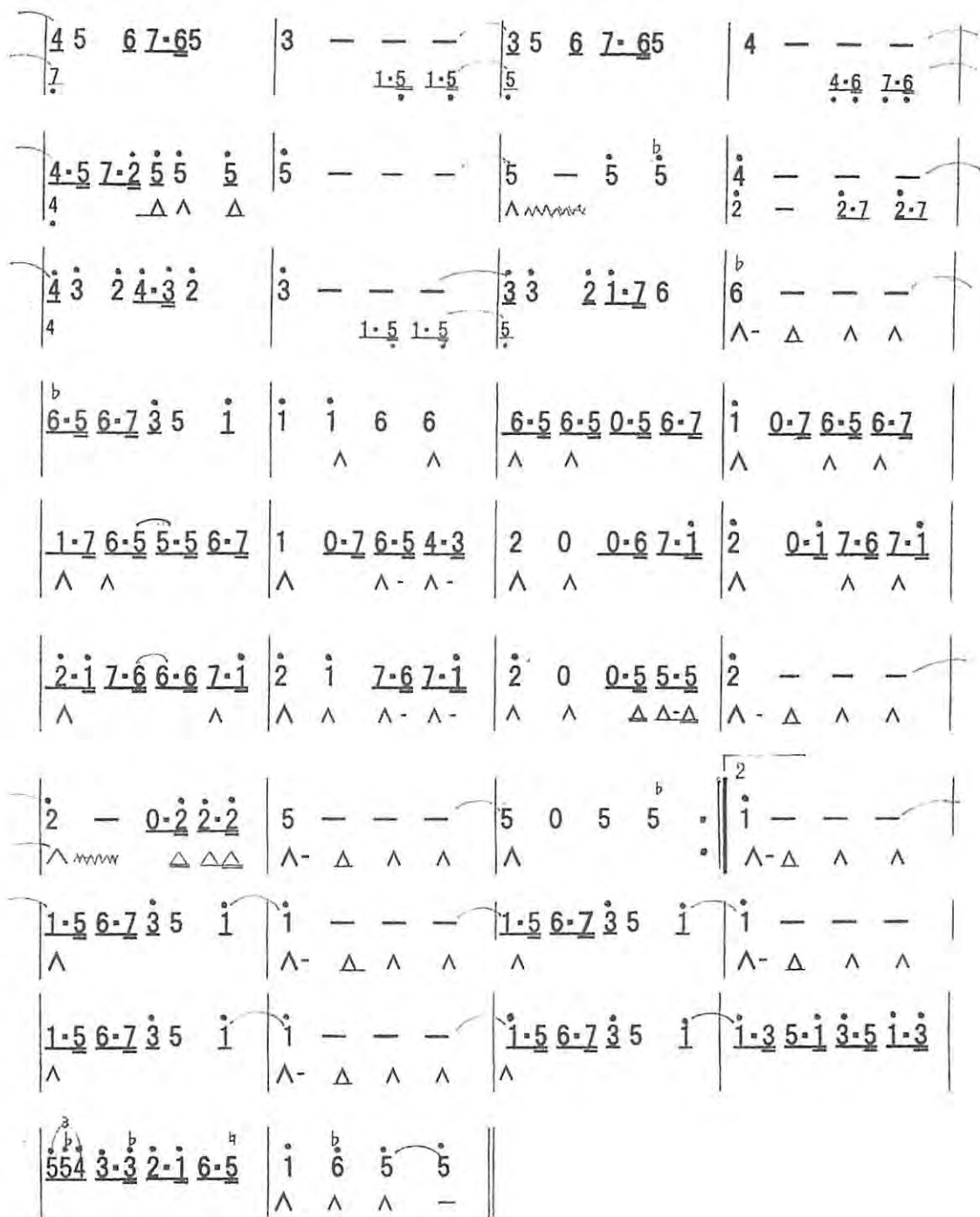
A、A

作曲 H・Betti

C、C

編曲 寺村 安雄

C 5 ^b5 4 — — — 4 3 2 4 · 3 2 2 — 2·7 2·7 7	3 — — — 1·5 1·5
3 3 2 1·7 6 5	^b6 — — — ^b6·5 6·7 3 5 5 △·△ △ △
6·5 6·5 0·5 6·7 △ △	1 1 6 6 △ △
4 5 6 7·6 5 7	3 — — — 3 5 6 7·6 5 1·5 1·5 5
4·5 6·7 3 7 6 4	6 — — — 6 — 5 ^b5 △·△ △ △ △~~~~~
4 5 6 7·6 5 7	3 — — — 3 5 6 7·6 5 1·5 1·5 5
4·5 6·7 3 5 1 4	1 — — — 1 0 1 ^b2
^b6 — 5 4	4 — 3 — 3 0 1 ^b2
6 — 7 1	3 — — — 2 2 7 6 5 5 △△△ △△△ △
	4 — — — 2 — 1 7 2 — 2·7 2·7





お役立ち情報を歓迎します

編集局

ハーモニー編集室では、読者の皆様からのハーモニカに関連する「お役立ち情報」の提供や「教えてほしい事」の呼びかけやトピックス等の投稿を歓迎します。投稿者氏名と希望するタイトルを付けて編集室宛てにEメールにワード文書添付でお送り下さい。但し原稿の内容やページ数の都合で全て掲載されるとは限りません。

◆パソコンで五線譜が出ます（吉村則次）

パソコンのワードで、五線譜をプリントアウトすることができます。A4用紙9段と12段があります。もう五線紙を買いに行く必要はありません。ワードの「新規作成」、「テンプレート」欄に、「五線譜」と入れて「→」を押してください。「五線紙」では出ません。これを「名前を付けて保存」し「五線譜」というタイトルで自分で保存しておけば、あとはワードで「五線譜」と入れて呼び出せば、すぐ出ます。テンプレートうんぬんは、もう必要がなくなります。1段を4小節に分けたものが出ればなおいいのですが、ご存知の方、それを作る方法を教えてください。

◆音楽の録音はPCMで、手動（マニュアル）で（吉村則次）

音楽の録音には、便利な「自動録音」の小さなICレコーダーはだめです。Linear-PCM Recorderで「自動録音」ではなく「手動（マニュアル）録音」に切り替えて録りましょう。音楽は、音の大小があります。「自動録音」は、音を録る時に録音の失敗がないように、自動で小さすぎる音を大きくし、大きすぎる音を小さくします。音楽を録音する場合は、大きい音は大きい音で、静かな音は静かな音で聞きたいので、「自動録音」は向いていないということです。レポーターや新聞記者が、環境が悪いインタビュー等で、失敗がない録音をしたいときには「自動録音」は向いています。

録音機に近いところの拍手は非常に大きな音なので、この音に反応して直後に音が小さくなる場合、おびやかな時にザーというノイズが出る場合、ああこれはICレコーダーで自動録音で録ったんだなと分かります。

「手動録音」の時には、録音レベルをどのくらいの音の時にはどのくらいに調節したらいいのかをいろいろ試してみて慣れておきましょう。

◆カラオケボックスを使おう（吉村則次）

既にカラオケボックスを使って練習をされている方も多いと思いますが、家ではとても練習できなくて悩んでおられる方は、お試しされては如何でしょうか。私が利用しているカラオケ店の場合、平日の昼はシニア一人1時間220円です。同じ店でも時間帯や曜日、休日によって、また地域によっても多少差があるようです。「カラオケの機械は一切使用せず、ハーモニカの練習場所としてカラオケボックスを使う」ということに引け目を感じることはありません。カラオケボックス側でも、そういう利用方法を想定し歓迎してくれます。楽器やコーラスの練習はもちろんのこと、単に食べておしゃべりをするためだけに部屋を提供しているのです。大人数の団体には、大きな部屋も用意されています。

但しご注意、カラオケボックスは音楽スタジオではないので、隣室の音が入ったりして録音には向きません。またカラオケを伴奏にして楽器を演奏する場合はキーを合わせる必要があります。カラオケ装置を操作して合わせるか、楽器の方を合わせるかしなければなりません。上手に操作されるベテランもおられるようです。



2007年6月、スイスでハーモニカを演奏する近藤宏一＝長嶋愛生園歴史館提供



①音階の異なる6台のハーモニカを組み合わせている＝東京の国立ハンセン病資料館②舌で点字を読む「舌読」＝趙根在撮影、同館提供

16.9.-7 朝日

第3種郵便物認可

隔離のアートをたどって

5

radotte@asahi.com

健康ちゃん
萎えたその手にハーモニカは持てるか

いや、持たねばならない
その唇にドレミは唄えるか
いや、唄わねばならない
8月末、東京都内であった朗読会で、一人の女性が語った。「私が圧倒された詩を、みなさんに伝えたくて」
詩は「ぼくらの風」という。つくったのは近藤宏一。ハンセン病になって国立療養所長嶋愛生園(岡山県瀬戸内市)に入り、1953年にハーモニカ楽団「青い鳥楽団」

を結成した。施設のある島を出て、東京や大阪でもリサイタルを開いたと聞く。
どんな楽団かと尋ね歩いてみた。メンバー13人のうち11人が失明、手や足にも不自由を抱えた重複障害者だった。結成された時期は既に新築ができ、社会復帰できるまでになった人たちがいる。だが島に残るほかに障害者もいて、近藤もその一人だった。薬のない時代に罹患した近藤は、光を失い、手が動かかなかった。取り残される焦燥感のなか、打ち込むものを探し

出血した舌でハーモニカ

てたどりを着いたのが、別れの日に父親がバッグにしのばせてくれたハーモニカだった。楽団をどう率いたのか。視覚障害なら点字があるが、近藤らの指や手は知覚まひを伴い、点字をさわっても感じ残らない。わずかに感覚が残る舌と唇で点字を読み始めた。「舌読」だ。読みたい、学びたい、表現したい。その思いが背中を押した。点字の凹凸で、舌先がこすれ、破れる。見えない出血の痛みに耐え、点字楽譜を読み取った。
音階の異なる複音ハーモニカ6台を一つに束ね、指のない手で操れるよう特注した。最初にはゴセックの「ガボツト」。さわやかなメロディーは、それこそ血のにじむ努力

に支えられていた。冒頭の詩は、そのころ近藤がつくった。仲間への叱咤激励か、自らを奮い立たせようとしたのか。詩は、近藤と同じ長嶋に生きた歌人の明石海人に私に思い起こさせた。深海に生きる魚族のように、自らが燃えなければ何処にも光はない。
慰問される側から、する側へ。それは生きるよろこびそのものだったに違いない。長嶋に行った。昔は橋がなく、文字とおり隔離の島。上陸した桟橋は崩れかかっていた。点字楽譜は台風で流されてしまったという。近藤の死後、楽団の記憶を語る人は、ほとんどいない。
島の歴史館では、近藤のラストステージが放映されていた。スポットライトを浴びる近藤が、ハーモニカを吹く。「宵待草」、そして「故郷」。

近藤のふるさととは大阪だった。38年、大阪から収容列車に乗せられた。すぐそばの老舗百貨店はいまも繁盛している。人波を切りぬきターミナル駅は、私の通勤ルートだ。そんな街の真ん中で、大人の患者は縄につながれたのか。11歳だった近藤は、縄こそ免れたが、刺すような視線に耐えたことだろう。
突然、過去と現在が地続きになった。紛れもなく、この国で、この街で、隔離は起きたことなのだ。
敬称略
(高木智子)

■編集室では、団体会員の方々がたくさん「ハーモニ」をお読み頂いていることを再認識し、「より広く、より多くの皆さんからの投稿を紹介したい」と考えています。例えば「読者コーナー」のような場を設定し、皆さんに「お役立ち情報」を発信していただいたり、「日頃の疑問」について意見交換したりして、新たな交流に役立つのが理想であると思っています。「出来れば次号から」という声も有るので検討いたしますが、これに限らず皆さんのお声を編集室にお寄せ頂ければ幸いです。(岩本洋之)

■能勢妙見山から吹き降ろす風に冷たさが増し、いよいよ冬の到来。ハーモニカには辛い季節となりました。皆さん冬の結露対策にいかが取り組んでおられますか。私はもっぱらヘヤードライヤーを愛用。OMさんから壟蹙を買うこと必定です。しかし、ハーモニカを手にとって当てるドライヤーの熱風は、せいぜい40度までで、一般的なプラスチックの耐熱範囲70度～100度に至ることはなく、溶融・変形は見られません。手の温度検知能力に多少個人差はありますが、耐熱範囲を超えることはまずないでしょう。かくして、複音ハーモニカは快適に

歌い、サブのコードハーモニカ・バルブの張り付きも軽減し、冬の夜長も苦にならず練習に励む？ こととなります。電池式の小型ドライヤーがあれば『鬼に金棒』、良い製品を探しています。(HP担当 渡辺晃志)

■編集局の一員としてバトンタッチして4冊目、1年が経つ。未だに要領を得ずに時間ばかりかかる。投稿して下さる方々とのやりとり、短いメール文の中にそっといただく労いの言葉がうれしい。(竹内寿子)

■池田輝樹先生の連載が65回。17年書き続けておられる先生の見識の広さにはいつも驚く。今回の原稿の後半部分、ハーモニカをもっと盛んにする方策の一つ、ハーモニカだけの世界に閉じこもるな！ 他の楽器とのコラボをすることでハーモニカの世界が開かれると。私も常にそう思っている。複音と10ホールズ、複音とクロマチック、複音と鍵盤ハーモニカといったハーモニカ同士だけでなく、ピアノ、バイオリン、シンセサイザー、他の民族楽器(フォルクローレ、和楽器、馬頭琴、胡弓など)とのコラボでも、また別の仲間と出会える。それが私の財産だと思っている。(もり・けん)

次号
締切日

次号 第211号 (2017年4月号) の
原稿締切りは **2月15日(水)**、会報編集室必着でお願いいたします。
同封物締切りは3月6日(月) 発行は3月中旬予定。

関西ハーモニカ連盟 会報 第210号 (2017年1月号)

発行人 吹上 晴彦
編集人 もり・けん
発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F
TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp
印刷・製本 株式会社カード & メディア



会員異動のお知らせ（2017年01月号） 2016. 11. 15現在

組 織 部 長

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報（住所・電話番号等）を非公開に出来ることが、2004.07.12の常任理事会により決議されました。また、2014.08.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市名までにすると決まりました。

会報209号（2016年10月号）でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。（敬称略）

（個人会員入会）

	会員番号	氏 名	〒	住 所	受 付 日
1	676	依藤昌勝	677-	兵庫県西脇市	2016. 10. 24
2	677	大村義宣		（非公開）	2016. 10. 27

（団体入会）

	団体番号	団 体 名	代 表 者	受 付 日
1	88	エコーズ・グリーン六甲ハーモニー	西田幸司	2016. 11. 12

（団体代表者登録）

	団体番号	団 体 名	代 表 者	受 付 日
		無し		

（団体名変更）

	団体番号	（新）団 体 名	（旧）団 体 名
		無し	

（団体代表者変更）

	団体番号	団体名	（新）代表者	（前）代表者
		無し		

（住所等変更）

	個人番号	
		無し

（住所等訂正）

	番号	
		無し

（個人退会）

	会員番号	氏 名・名 称	理 由	受 付 日
		無し		

（団体退会）

	団体番号	団 体 名	代 表 者	受 付 日
		無し		

（物故者）（組織部に連絡があった方のみ掲載）

元会員・理事	原田忠雄	2016. 07. 06逝去 82歳
--------	------	--------------------

2016. 11. 15現在の個人・準・賛助会員は257名、団体会員は772名（71団体）です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等
名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。



募集中!!

**ハーモニカ
と
ワンショット**

お子さん、お孫さん、ご家族の方々、親しい仲間、かわいいペット、大切にしているもの、風景など…ハーモニカと一緒に写っている写真を広く会報読者から募集しています。採用分は会報の表紙または裏表紙に掲載いたします。ふるってご応募ください。プリントまたは写真データを郵便またはメール添付便で下記までお送りください。

関西ハーモニカ連盟会報編集室「ハーモニカとワンショット」係

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務室内

e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp